

小学校教科用図書 調査研究結果報告書

区分	教科(種目)	ページ
1	国語	1 ~ 4
2	書写	5 ~ 8
3	社会	9 ~ 12
4	地図	13 ~ 15
5	算数	16 ~ 22
6	理科	23 ~ 29
7	生活	30 ~ 37
8	音楽	38 ~ 40
9	図画工作	41 ~ 43
10	家庭	44 ~ 46
11	体育(保健)	47 ~ 53
12	外国語(英語)	54 ~ 60
13	道徳	61 ~ 67

令和5年度

松塩筑安曇地区教科用図書採択研究協議会

国語

東京書籍

教育出版

光村図書出版

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準	発行者名 東京書籍（新編 新しい国語）
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識及び技能の定着を図るために各領域の学習の中で繰り返し扱い、必要に応じて取り立てた教材を設ける等、構成がよく工夫されている。 ・ 1単元1領域を原則として指導事項を重点化し、重点指導事項に即した具体的な言語活動を設定し、課題解決的な活動を通して、思考力、判断力、表現力が身に付くようよく工夫されている。 ・ 単元冒頭で「言葉の力」により何を学ぶかを明確にするとともに単元末「生かそう」の欄を設定し、各単元で学んだことを他教科や日常生活で活用できるようよく工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の発達段階に応じた文章の長さ、分量、難易で適切な題材を取り上げており、領域ごとのバランスも配慮されている。 (2) 児童の関心、他教科との関連、各種教育課題への対応などを踏まえ、多様な内容・テーマを取り上げて単元を配列しており、幅広い知識や教養を身に付けられるよう十分に配慮がされている。 (3) 単元ごとに「見通す」「取り組む」「ふり返る」という学習の流れが設定されており、児童自ら課題意識や見通しをもって学習を進められるようよく工夫されている。 (4) 文字指導にも適した独自の教科書体を中心とし、文字が小さい箇所には、UDフォントを使用したり、m i m（多層指導モデル）を取り入れたりするなど、学年発達に応じた十分な配慮がなされている。 (5) 色や矢印、箇条書きや図解、イラストなどが工夫して配置され、児童の内容理解や多様な思考を助けるよう配慮がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の関心や発達段階に合わせた教材や題材を用い、扱う内容を重点化し、6年間を通じ段階的・系統的に学習が積み上がるよう十分に配慮されている。 (2) 各単元の導入の「思い出そう」と、各学年の巻末での「言葉の力のつながり」で、「言葉の力」を領域ごと、系統ごとに示し、単元相互の関連性や連続性が実感できるよう十分工夫されている。 (3) 単元巻頭の「言葉の力」で身に付ける資質・能力を意識し、「学習の流れ」で見通しをもって学習を進め、終末部で、言葉の力が身に付いたかを確認できるようにするなど、言葉による見方、考え方を働かせた学習展開ができるよう十分に配慮されている。 (4) 知識及び技能について。各領域の学習の中で繰り返し扱われ、確実に定着が図れるよう十分に配慮されている。 (5) ワイドなイラストや写真で、学習への意欲が高まるよう工夫している。また、紙面内の文字や図版などの区別を明確にした配置や色使いの工夫がなされており、学習に集中して必要な情報を得られるよう、十分に配慮されている。 (6) 各単元末に「ふり返る」と「言葉の力」を提示し、児童自身が学習してきたことを確認できるように配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元で身に付ける力を「言葉の力」として明確化し、「学習の流れ」を提示することで、どのように学ぶか見通しをもって学習できるよう工夫されている。 ・ 単元末には「生かそう」を設け、国語の学習で身につけた資質・能力を他教科の学習場面や生活場面で活用できるよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準	発行者名 教育出版（ひろがる言葉 小学国語）
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「学年で学ぶこと」を載せ、1年間の学習の見通しを持たせるとともに、国語の学習で身に付けた力を他教科や実生活で生かせる場面を設定し、生きて働く言葉の力を身に付けられるよう工夫されている。 ・ 児童の身の回りにある課題を取り上げることで、必要感を持って課題に関わり、学習を実生活へ広げ、多様な言語活動に取組めるようよく工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の発達段階に応じて、文章の長さ、分量、難易の程度が考慮され、児童が無理なく学習が進められるよう十分に配慮されている。 (2) 児童の日常生活や他教科への広がりや意図した教材、今日的な課題を反映した教材を配置するなど、学習の関心・意欲を喚起する教材が適切に配置されている。 (3) 「学習のてびき」を提示したり、問題解決する学びの道筋を4つのステップに分けたりすることで、児童が自ら課題を見つけ、見通しを持ちながら、主体的に取組むことができるよう十分に工夫されている。 (4) 児童にとって見やすい教科書体を用いたり、違和感のある交ぜ書きにならないように上位学年の漢字でも熟語ではふりがなを使用したりするなど、学年発達に応じた視覚的な配慮がされている。 (5) 見やすい色使いの図表・写真・さし絵を活用することで、児童が学習内容を端的に把握したり思考を深めたりすることができるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の発達段階に沿って螺旋的・反復的に繰り返しながら、言葉の力を育成できる言語活動を取り入れ、単元を系統的に配列するよう十分工夫されている。 (2) 年間で学ぶ内容が確認できるよう「学ぶこと」を各学年の上巻・下巻の巻頭で示すなど、単元相互の関連性や連続性が図られている。 (3) 教材との出会いを大切にする「学びの扉」や「学習のてびき」により、見通しを持ち主体的に学ぶよう構成されているとともに、各領域の言語活動が十分に行われるよう複数の領域を組み合わせた単元を設定するなど、十分に配慮されている。 (4) 巻頭に「ひろがる言葉」・巻末に「言葉の木」「学ぶときに使う言葉」のページを設け、見通しを持てるようにし、全単元に学習目標・めあて・手立てが明示され学習の重点化、知識及び技能の系統化が図られるよう、十分に配慮されている。 (5) さし絵・図版・写真は、考えの形成を助ける資料性の高いものや、活動の手順や留意点を分かりやすく示すものなどが配置され、学習上必要となる視覚的な配慮がなされている。 (6) 単元末に、「ふり返ろう」や「ここが大事」を設定し、まとめや評価の観点を明確にして自己評価ができるよう工夫がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の展開や段階を明示し学習の可視化を図り、児童が単元の目標を理解したり学習の見通しを持ちやすしたりするよう配慮されている。 ・ 児童の身の回りにある課題を取り上げ、必要感を持って課題に関わり、多様な言語活動を通して主体的に取組めるよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準	発行者名 光村図書出版（国語）
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「国語の学びを見わたそう」、各単元の冒頭に単元の目標や言語活動が明記され、児童が見通しを持って学習に取り組み、基礎的・基本的な内容が着実に身に付けられるよう十分配慮されている。 ・ 教科書全体を「単元」「コラム」「特設単元」で構成し、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」とを適切に組み合わせて、言葉の力を着実に身に付けられるようよく工夫されている。 ・ 単元の初めに「問いをもとう」を設定し、児童が自らの問いや願いを持って主体的に学びに向かえるようよく工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>（本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の発達段階に応じた文章の長さや分量、難易の程度が考慮され、各領域にわたって適切な話題・題材を取り上げて、無理なく学習が進められるよう十分に配慮されている。 (2) 学校生活や他教科と関連した教材、ものの見方・考え方を広げたり深めたりできる教材を配置するなど児童の学習意欲を喚起するよう、十分に配慮されている。 (3) 「見通しをもとう」を設定することで、学習や生活の中で感じた児童の問いをもとに、児童が主体的に学びを深めることができるよう、十分に工夫されている。 (4) 本文にはオリジナルの教科書体を用い、読みやすさだけでなく、書き文字に近く正しい字形を意識できるようよく配慮されている。 (5) イメージを豊かに広げるさし絵・写真・グラフ等が見やすさに配慮し、適切に配置され、児童の理解や思考を助けるよう十分配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>（「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価）</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学年内・学年間を見通した単元配列がなされ、基礎的・基本的な内容が確実に身に付くとともに、各単元、教材のねらいが系統的に位置づけられ、段階的な指導ができるよう十分に配慮されている (2) 巻頭の「○年生で学ぶこと」では、年間の学習課程を領域ごとに示すとともに、前年度の学習課程を下段に配置することで単元相互の関連性や連続性を確かめながら指導できるよう十分配慮されている。 (3) 自ら問いを持ち、複数の領域の言語活動に取り組みながら展開するような単元構成がなされており、主体的・協働的な学びが実現できるよう十分に配慮されている。 (4) 単元ごとの「ふりかえろう」では、三つの観点で知識・技能の振り返りを位置づける等、知識・技能が系統的に各領域と関連付くよう十分に工夫されている。 (5) 教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げられるようさし絵や写真を適所に掲げている。また、考えを形成したりまとめたりする思考ツールとして活用できるよう図表やグラフが工夫して配置されている。 (6) 単元末に「ふりかえろう」や「大切」を設定し、三つの観点に沿って振り返ることで自らの学びの自覚化を促したり、学んだ言葉の力の活用が図られたりするよう十分に配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の手引きでは、全体を上段の学習課題と下段の学習のポイントの2段に整理し、児童が学習過程に即して主体的に学んだり、学びを深める手立てを確かめたりできるような配慮が十分になされている。 ・ 児童の発達段階や教材との関連を考慮しながら、学習や日常生活で役立つ語彙が豊かに獲得できるよう十分に配慮されている。

書 写

東 京 書 籍

教 育 出 版

光 村 図 書 出 版

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍(新編 新しい書写)
1 教科の目標からの 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書写学習の基礎的・基本的な事項を確実に習得できるよう、学年の発達段階に応じて系統的に単元を配列し、螺旋的に学習できる工夫が十分されている。 ・ 学習事項のポイント「書写のかぎ」を設け、文字を整えて書くための知識・技能を系統的に整理し、学年の発達段階に応じた課題解決型の学習が行えるよう十分に配慮されている。
2 児童の学習活動への 配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意 性 本文、見出し、設 問、提示文等の表 現、さし絵、写真、 図表、配色、コン トラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各単元の指導事項に適した字形を持つ文字を教材とし、学年の配当字数に照らして適切な単元数、分量で硬筆と毛筆の学習ができるよう配慮されている。 (2) 単元の初めに生活の中の事例を「4コマ漫画」で紹介し、児童が日常から課題を見つけ、教科書を手段として解決し、書写の学びを主体的に深めていけるような工夫がされている。 (3) 各単元の流れが「みつけよう」「たしかめよう」「いかそう」「ふりかえろう」という児童の思考に沿った流れとなっており、児童同士の対話を促したり、児童が課題に気付いたりするための工夫が十分になされている。 (4) 色覚の多様性に配慮されており、児童が学習に集中し、紙面の大事な情報に着目できるようにレイアウトや色遣いが工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的 な知識・技能の習 得」のための工夫、 「思考力・判断力・ 表現力等の育成」の ための工夫、「主体 的に学習に取り組 む態度を養う」ため の工夫、関連性・連 続性、個に応じた指 導、他者との協働、ま とめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎・基本を重視し、入門段階を丁寧に扱っており、学年の発達段階に応じて「書写のかぎ」で大切な用語を押さえながら簡単な点画から単元を配列する配慮がなされている。 (2) 巻頭の「書写の学び」では、当該学年で学習することや前学年での学習を掲載し、既習事項を踏まえながら学習に取り組めるよう十分に配慮されている。 (3) 日常生活の中から課題を見つける資料を提示し、「リンクマーク」や「生活に広げよう」「学びを生かそう」等により習得した力を日常生活に生かす場面を設けることで、児童の主体的な学びを促すよう十分に配慮されている。 (4) 印刷の濃度や色味を調整することで、より本物に近く、見やすいものにしたり、どのページでも同じ学習段階は同じ場所にレイアウトしたりする等、視覚情報を用いて指導しやすいよう工夫されている。 (5) 「書写のかぎ」によって共有した課題にそって振り返りができるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元は①硬筆→②毛筆→③硬筆→④振り返りという展開になっており、硬筆から出発し、硬筆に帰ることで、毛筆を使用する学習が硬筆で書く力の基礎となるよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版(小学 書写)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書写の「原則・原理」に従って、学年の発達段階に合わせた教材が系統的・段階的に配列され、学習した内容が日常生活の様々な場面で活用できるよう十分に配慮されている。 ・ 「学習の進め方」で4つのステップを示し、1時間の初めの「ためしがき」終わりの「まとめがき」により、自ら見通しを持ち主体的に取組み、自己の成長を実感できるよう、十分配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年の教材は、児童の発達段階や語彙・言語環境等を考慮し、年間30～35単位時間程度の限られた時数の中でも、過不足なく学習効果が得られるよう十分配慮されている。 (2) 習得した書写力と他教科や日常生活との関連を図れるよう「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」等において活用の具体例を多数掲載し、「生きて働く書写力」が育成できるよう十分に配慮されている。 (3) 「学習の進め方」で1時間の見通しを持ち、「めあて」で文字を書く時に考える観点を持つことで、児童が自分で課題を見つけ、主体的に学習ができるよう工夫されている。 (4) 左利き児童用の資料の提示をしたり、UDフォントを活用したりすることで、すべての児童にとって読みやすく、学びやすい工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年に応じて、書きやすい点画や文字の大きさなど、平易なものから発展的に学習できるよう配列が十分に工夫されている。 (2) 低学年では姿勢、筆使い等を重点的に扱い、高学年の筆圧、字形の整え方等へ発展していくよう構成され、「はってん」で次の学年の学習が示される等、学年間の関連を図れるよう配慮されている。 (3) 巻頭には「学習したことを他の学習や、他の生活の中で生かそう」でノートや手紙での生かし方が具体的に掲載され、「つかむ・考える」「書く・たしかめる」「振り返る」「生かす・広げる」を位置づけ、どのように学ぶかを明確にして、児童の主体的な学習を促す単元展開になるように十分配慮されている。 (4) 社会の多様性を踏まえ、色覚等の特性を踏まえた判読しやすい配色や、課題解決の方法を考えながら学習を進められるよう、写真や図表が豊富に掲載されており、指導に生かせる工夫がよくなされている。 (5) 学習の始めと終わりに設定された「ためしがき」と「まとめがき」、および観点が明確に示された「ふり返ろう」により、学んだことが確かめられるよう十分に配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書写で学習した知識を使って、自分の課題解決した内容を伝え合う場面の例示をしたり、伝え合う視点を示したりし、対話的な学びへの配慮が十分にされている。 ・ 練習用紙を選択したり、課題選択ができる教材を設けたりし、児童自らの課題解決に向けて主体的に取り組めるようよく工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準	発行者名 光村図書出版(書写)
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年段階の「書く力」を確実に身に付けられるよう、基礎的・基本的な知識・技能を系統的に位置づけ、習得と活用を繰り返しながら螺旋的に高められるような工夫が十分されている。 ・ 課題を見つけ解決するまでの過程が一目でわかるよう提示され、学習を通して文字の整え方を主体的に学び、身に付けた力を他教科や日常生活に生かせるよう十分に配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>（本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1教材 1目標とし、その教材で扱う要素が焦点化して提示されており、児童の発達段階に応じた書く力が系統的・段階的に高められるよう十分に配慮されている。 (2) 児童の日常生活や他教科の学習内容から幅広く取材した教材を豊富に位置づけ、学習したことを自分や社会と結びつけて理解し、日常生活に生かせるよう十分に配慮されている。 (3) キャラクターの動きで筆運びを表現したり、文字同士を比較して共通点や相違点を考えさせたりすることで、児童自らが文字に対する見方・考え方を働かせて、必要な技能が確実に身に付けられるよう、十分に配慮されている。 (4) 見やすいよう工夫されたフォント・色使いを用い、左利き児童用の教科書紙面が提示されたり、筆運び等の動画の二次元コードが用意されたりするなど、ユニバーサルデザインに十分に配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>（「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価）</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎的・基本的な知識・技能を系統的に位置づけ、習得と活用を繰り返しながら力を高めていけるよう、単元の配列がよく工夫されている。 (2) 毛筆を扱う際に、同じ学習要素をもつ硬筆課題を教材内に設け、毛筆で学習したことが硬筆に生きるようにしたり、1、3年に「スタートブック」をつけたり、硬筆や前後の学年との関連について十分に配慮されている。 (3) 各学年に「書写広げたい」を設けられ、6学年では学習したことをまとめた「書写ブック」が配置されるなど、国語教科書や他教科と関連した教材を設定したり、日常生活に生かせるような単元を配置したりするなど、児童の主体的な学習を育てるよう配慮されている。 (4) 読みやすさを考慮した独自に開発した教科書体を使用するとともに、「学習の進め方」では、イラストや写真で示しながら、学習の流れが一目でわかるようにし、視覚的な資料が指導に役立てられるようよく工夫されている。 (5) 全教材に「たいせつ」を設け、単元の課題について自己評価できるようにするとともに、他の字を書くときにも活用できる基礎・基本を確かめることができるよう十分に配慮されている
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「①考えよう→②確かめよう→③生かそう」の学習段階が提示され、自ら発見した文字の原理原則を実際を書いて確かめるという課題解決型の学習が主体的に進められるよう十分に配慮されている。 ・ 1年巻頭に「しゅしゃスタートブック」、6年に小学校で学習したことをまとめた「書写ブック」を設け、園や中学校との接続がスムーズに図れるよう十分に配慮されている。

社 会

東 京 書 籍

教 育 出 版

日 本 文 教 出 版

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい社会）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられている。 ・ 様々な仕事や活動に携わっている人の話を「〇〇さんの話」として掲載し、共感的に人の生き方を理解して学べるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) ドラえもんの4種類のイラストを目印に児童が社会的な「見方・考え方」の視点を一目で理解できる工夫がされている。また、多様な人物キャラクターが学習を進めていくアドバイザーの働きをし、児童の主体的な学習の手助けとなるよう配慮されている。 (2) ワイド面や折り込みページを用いた迫力あるイラストや厳選された写真資料が多く用いられると共に、QRコンテンツを用い動画でさらに詳しく調べられ、児童の興味・関心が高まるように工夫している。 (3) 各見開きページに「まなびのポイント」が例示されており、児童自らが主体的かつ連続的に学習活動を展開できるよう配慮されている。 (4) 「まなび方コーナー」を適所に設け、各学年の発達段階に応じて丁寧に示されており、児童が調査表現活動をしやすいよう工夫がされている。 (5) 専用の教科書体とUDフォントを使い文字をバランスよく配置し、児童が読みやすいものになっている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 重要なキーワードを「ことば」として明示し、さらに振り返ってまとめて活用し、学習の基礎基本が定着できるよう工夫されている。 (2) 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習の流れが明示され、問題解決的に学習を進めやすく、単元が途切れることなく、連続的につながるように工夫されている。 (3) 「空間」「時間」「相互関係」の3つの視点と、方法（考え方）で挿絵を変え、児童が社会的な見方を働かせてどのような視点や方法で考えていけばよいか明確に表されるよう工夫している。 (4) 学年の学習内容に応じて、SDGs・国際理解等の今日的な課題の内容を取り上げ、また「いかす」場面では発表する、話し合う等の言語活動を重視し、児童の思考力・判断力・表現力が高まるように工夫されている。 (5) 単元ごとの本文とそれに関する資料とが見開きのページの中で繋がるように配列され、写真、地図等の資料から多様な読み取りやそれらを活用した学びが展開できるよう工夫されている。 (6) 「まとめる」の段階で二次元コードよりワークシートが活用でき、児童がICT機器を使用し、学習の整理や振り返りができるように配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前学年の振り返りから導入し当該学年の振り返りで締めくくる等、学習内容や進め方に見通しをもてる態度の育成が丁寧に配慮されている。 ・ 分冊にすることにより児童の運搬を容易にする配慮がされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版（小学社会）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられている。 ・ 社会に参画する多様な人々の思いや願いを例示し、社会への関わり方について考え、判断・表現する力を養えるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習対象とする社会事象に関わる写真が豊富に掲載され、またモノクロ写真への着色など写真資料を効果的に使用するなど、児童の興味や関心が高まるよう配慮されている。 (2) 前学年の学習を想起したり、他の教科との学習連携を示したりする頁を設け、児童が関心や意欲を高められるように、導入が工夫されている。また、見開きの頁に1時間ごとの問いを示し、「次につなげよう」コーナーを設け、一貫した追究ができるように配慮されている。 (3) 二次元コードや「学びのてびき」欄でのICT機器の多様な活用例が紹介され、ICT機器を活用しながら、児童が主体的に調べたり、考察したりできるよう配慮されている。 (4) インタビューカードの書き方や学びのまとめの例示など、児童が調査・見学やそれに基づく表現活動を主体的に進めるよう配慮されている。 (5) UDフォントが使用され読みやすさに配慮されている。また、「キーワード」が適切に配置され、児童の追究を補助するよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「みんなでつくった学習問題」として設定された学習問題の解決に向けて児童が単元を自主的に学習の展開をできるように工夫されている。また、学習単元が構造化されているため、見通しをもって指導できるよう配慮されている。 (2) 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習展開によって、単元全体を通して問題解決型の学習を進めることができるように配慮されている。 (3) 探究的な学習のサイクルについて円循環図で提示することで、児童が問いを連続的に生みだしながら追究していけるよう工夫されている。 (4) 4年「水道管と地域の課題」、6年「ハンセン病」等、人権や今日的な課題を取り上げ、多様な人々が共に生きる社会の形成について、児童の意識が高められるよう配慮されている。 (5) 単元導入時の見開き頁一面の資料やイラストによって、児童の多様な気づきを促したり、比較・関連付ける学習展開に生かせたりするように、構成が工夫されている。 (6) 人物キャラクターによる語りや吹き出しを使って、児童が対話的に言語活動を行って、まとめができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一冊の中に学年で扱う学習内容が収められ、年間を通して見通しをもって学習を進めたり、適宜振り返ったりしやすい配慮がされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	日本文教出版（小学社会）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられている。 ・ ICT機器を活用しながら、調査活動を通して情報を適切に調べ、まとめる技能が身に付けられるように調べ方を具体的に示す等の配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) イラスト、写真を拡大提示したり、複数の資料を適宜配置したりすることで、児童が興味関心をもち学習を進められるよう工夫されている。 (2) 人物キャラクターの疑問や気づきを示すことで、問いが生まれ、学習の深まりを導く単元展開の工夫がされている。 (3) 「空間」「時間」「関係」の3つの「見方・考え方コーナー」を設定することで、児童がどんな視点で物事を見たり、考えたりするか見通しをもてるよう配慮されている。 (4) 調べたことをリーフレットやカードにまとめ、発表することで「深め合う」ことを提案しており、児童が見学・調査や表現する活動を主体的に進められるように工夫されている。 (5) 写真やグラフなどは、カラーUDに配慮して作られており、多くの児童にとって見やすいように配慮されている。特に図表にはドットや斜線等も活用し、より見やすい工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童にとって身近な学習内容を選定し、発達段階と内容の系統性を踏まえた単元配列にすることによって、基礎的・基本的な内容が身に付き、実生活への活用ができるように工夫されている。 (2) 「わたし（たち）の問題」「学習問題」「さらに考えたい問題」といった三つの要素をもとに学習が展開するように配置されており、児童が学習問題の質的な広がりや深まりを実感できるように工夫されている。 (3) 「まとめ」の段階では、登場人物の話し合う様子や会話の様子から、対話的に学ぶ方法を学べるよう配慮されている。また、その会話を例示することで、児童が対話的な学習を行えるように工夫されている。 (4) SDGsに関連した内容が多く提示され、社会の持続可能な発展に関わる問題を自分ごととしてとらえ、社会的な見方・考え方を働かせながら意欲的に学ぶことができるように工夫されている。 (5) 挿絵・写真・統計資料・地図・年表等の資料を1頁に複数掲載するとともに、二次元コードを随所に配置し、ICT機器を活用しながら比較・関連付けができるように工夫し構成されている。 (6) 「学び方・調べ方コーナー」で、グラフなどの読み取り方や道具の使い方、図によるまとめ方を提示し、知識及び技能の定着を図ることができるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一冊の中に学年で扱う学習内容が収められ、年間を通して見通しをもって学習を進めたり、適宜振り返ったりしやすい配慮がされている。

地 図

東 京 書 籍
帝 国 書 院

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい地図帳）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料や写真等の内容が精選されていて、児童に見やすい配慮がなされている。また地図帳をもとに多角的に考えるための工夫が施されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 地図帳の導入ページ部分では、キャラクターが地図の読み方についてガイド形式で学習する形式がとられ、初学となる3年生が抵抗なく地図学習に取り組み始めることができる工夫がされている。 (2) 主体的な学びを促すため「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」のコーナーを各ページに設け、様々な問いや作業に取り組むことで地図への関心や学びの意欲を高める工夫がされている。 (3) 地図表現では地形の陰影をなくし淡色で見やすい工夫がされている。田、畑、果樹園などは、彩色だけでなく地図記号を記載することで、各地の土地利用の様子を読み取りやすくする配慮がなされている。 (4) 文字が大きめに記載されている。ゴシック系のUDフォントが取り入れられ、地名表記には白い縁取りが施され見やすくなっている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 町の様子が抽象化され、地図が作成されていく過程がキャラクターの説明を通して丁寧に掲載されていて、初めて地図学習をする児童が分かりやすいだけでなく、親しみやすいような工夫がされている。 (2) 地理、歴史、公民的分野について見開きページを設け、周囲にグラフ、資料、図を併記することで地図資料と比較しながら考えやすくしている。 (3) 日本の自然災害について、災害地図を中心資料とし、地形と気候の関係から災害の起きる要因や防災対策について考察できるようにされている。 (4) 写真、絵、統計資料が児童の調査学習に必要と考えられる量に精選されていて、資料選択が容易になるよう配慮されている。また地図やグラフ、イラストが大きく掲載されているため見やすくなっている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図で示されている資料や写真等の内容が精選され、大きく印刷されているので、見やすいレイアウトとなっている。また地名の印字も縁取りされており、ふりがなも含めて読みやすく視覚的にとらえやすい。全体的にすっきりとした構成である。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	帝国書院（楽しく学ぶ小学生の地図帳）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> 3年生からで地図帳を活用することを配慮し、地図の導入場面を丁寧に扱っている。また写真やイラストが全体的に多用され資料も多く、児童が地理的社会的条件を読み取りやすい内容となっている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> 児童の発達段階を配慮された構成である。地図学習の初学となる3年生でも読み取りやすい精選された簡易地図から、高学年向けの調査学習に活用できる詳細な地図まで幅広く掲載されている。 主体的な学びを促すための手立てとして「トライ!」「地図マスターへの道」などの設問がそれぞれのページに位置付けられ、地図に関心を引き付ける問いや資料活用能力を高めることができる問いが用意されている。 等高段彩表現と土地利用表現の彩色が明瞭で、地理的特色をとらえやすい。特に土地利用の配色については、五色用いられていて（通常は四色）より明確に区分しやすい配慮が施されている。 全編にわたりユニバーサルデザイン（レイアウトの統一、文字やフォントの大きさ、色覚特性に配慮した色使い）が取り入れられている。また重要な地名は太く強調したり、文字の周りに縁取りをつけたりして、より見やすさが工夫されている。また、学習支援のためのQRコードが設けられていて、アニメーションによる解説や動画など、デジタル端末を活用した主体的な学びにつながるコンテンツが用意されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> 地図の序盤「広く見わたす地図」では都道府県の地形、産業の情報を精選し掲載している。後半の各地方地図ではより詳細な情報が記載され、発達段階に応じた配列構成となっている。 資料図や統計がテーマ毎に見開きで掲載されていて、地図と関連資料、写真を見ながら学習を深めることができる。 自然災害と防災について見開きで4ページ分配置されていて、自然災害の分布図や写真で実際の災害の様子を掲載している。また防災設備のイラストや防災マップづくりを掲載し、防災意識を高めることができるよう配慮されている。 巻末の統計資料のページにおいて、産業別の都道府県生産量割合や農水産物、資源の輸入先が帯グラフで示されている。項目ごとに併載されているため、調査学習の資料として見やすく活用しやすい。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> 資料やグラフが数多く掲載されていて、児童の調査学習用の資料として活用されることが期待できる内容である。地図の配色も明瞭で、見開きの中央部が開きやすく、使いやすい。

算 数

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

啓 林 館

日 本 文 教 出 版

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい算数）
1 教科の目標からの 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的活動を重視した展開で構成し、基礎的・基本的な知識及び技能の習得のために、繰り返し学習できるように配慮されている。 ・ 数学的な見方・考え方を言語化して明示的に価値付け、既習と統合したり発展的に考えたりする学習ができるように配慮されている。 ・ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度が育つように配慮されている。
2 児童の学習活動への 配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘 意性 本文、見出し、設 問、提示文等の表 現、さし絵、写真、 図表、配色、コン トラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の論理的な思考・表現活動の場として「算数マイノート」を位置付け、発達段階に応じて自分や他者の考えを基に、数学的な見方・考え方を働かせて追究できるように配慮されている。 (2) 1 単位時間の最後に「それなら」を設け、発展的に考え、次時の学習内容を創造することを促すような配慮がされている。 (3) 説明する場面や話し合う場面が多く位置付けられ、対話的・協働的に問題解決ができるように大変工夫されている。 (4) 単元間に復習問題「おぼえているかな？」を設け、既習事項や学習の継続性が分かるように配慮されている。 (5) ページ番号を白抜き文字にしたり、色数を削減したりして視覚的な刺激を軽減している。また、重要事項に着目できるように枠で囲んで明確に区別するなど、大変工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的 な知識・技能の習 得」のための工夫、 「思考力・判断力・ 表現力等の育成」の ための工夫、「主体 的に学習に取り組 む態度を養う」ため の工夫、関連性・連 続性、個に応じた指 導、他者との協働、 まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各領域や単元の配置時期を工夫し、基礎的・基本的な内容を段階的に指導できるように配慮されている。 (2) 各単元の最終ページに、「つないでいこう 算数の目」を設け、単元全体の学習を通してできるようになったことや次に学習してみたいことなどを、対話活動を通して明らかにできるように大変工夫されている。 (3) 2 学年以上の単元末に、「いかしてみよう」「おもしろ問題にチャレンジ」を位置付け、学習したことを生活に活用したり数学の問題解決に取り組んだりできるように配慮されている。 (4) 単元末では、学習した内容の定着を図る「たしかめよう」が設けられ、知識及び技能の習得をいっそう確実なものにする問題量が確保できるように配慮されている。 (5) 実物の写真を使用した挿絵が多く用いられ、実生活との関連を意識しやすいように大変工夫されている。 (6) 1 単位時間ごとにまとめが位置付けられ、知識及び技能に加えて、数学的な見方・考え方についても振り返ることができるように配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元、領域、他教科等とのつながりを可視化し、統合的・発展的な学びが展開されるように配慮されている。 ・ QRコンテンツが豊富にあり、「オープニングムービー」や「シミュレーション機能」などを効果的に活用できるように大変工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	大日本図書（新版 たのしい算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練習問題や様々な種類のデジタルコンテンツを設けることで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図れるように配慮されている。 ・ 問題提示の工夫や数学的な見方・考え方を働かせる場の設定など、児童の思考力、判断力、表現力等の育成を図れるように工夫されている。 ・ 算数が社会で生かされていることを実感しながら主体的に学習に取り組めるように、児童の興味・関心を高める配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 問題を右ページ、解決方法を次ページに配置する構成を随所に取り入れ、思考・表現する活動が行えるように配慮されている。 (2) 児童が自ら問題を見いだせるような単元の導入コーナーを設けるなど、主体的に学習に取り組めるように大変工夫されている。 (3) 日常生活に関連した題材で児童の興味・関心を喚起したり、学習したことを生活の中で活用する問題を取り入れたりし、現実の世界と関わ合うように配慮されている。 (4) 第2学年以上は学年一冊の合本にしたり、前学年までの学習内容を参照できるデジタルコンテンツを設けたりすることで、振り返りや学び直しがしやすいように大変工夫されている。 (5) 文節単位での改行、全面的なUDフォントの使用、カラーUDをふまえた配色など、ユニバーサルデザインへの配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 第2学年以上は学年一冊の合本とし、学習内容を見通した計画や単元配列を入れ替えたり、第1学年では1巻を新設し、初期の学習に特化した指導をしたりできるように配慮されている。 (2) 領域別単元カラーを設定し、目次や各単元ページを色分けすることで、学習のつながりを意識して系統的な指導がしやすいように工夫されている。 (3) 巻頭に「算数の大切な考え方」のページを新設し、「ひらめきアイテム」の項で、数学的な見方・考え方を蓄積しながら各単元の学習に生かすことができるように大変工夫されている。 (4) 単元末の「たしかめ問題」では、基礎的・基本的な知識及び技能を再確認できたり、発展的な学習に取り組めたりする問題が設定されるなど、個に応じた指導ができるように配慮されている。 (5) 学年前半の「じっくり深く学び合おう！」では、話し合い場面を写真でより詳細に示すことで、学習を深めていく一例として参考にできるように配慮されている。 (6) 第2学年以上の全時間に学習のめあてが設定され、ひと目で指導のねらいがわかったり、まとめの囲みが色分けされ、児童が見出すべきものと指導者が指導すべきものが区別できたりし、評価やまとめの観点が明確になるように大変工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決の流れに重点を置き、数学的な見方・考え方を働かせながら思考力、判断力、表現力等が育成できるように工夫されている。 ・ デジタルコンテンツが充実していて、図が動くアニメーションコンテンツや左利きの児童向け動画も用意され、学習の理解を深めたり技能を定着させたりすることができるように工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	学校図書（みんなと学ぶ 小学校算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的な見方・考え方をキャラクター化することで児童が数学的な見方・考え方を意識しやすくなるようにし、これまで働かせてきた見方・考え方を領域の学習ごとに振り返られるように工夫されている。 ・ 展開の基本を問題解決学習におき、論理的思考力の育成が図れるように配慮されている。 ・ 生活場面から問題を提示し、それが数理的に試行していく学習を通して、数理的な処理のよさが実感できるように工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1 単位時間の内容が数ページに渡る構成を取り入れ、児童の多様な考え方や処理に触れることができるように大変工夫されている。 (2) 単元の流れを問題発見から始めながら解決し、各時間の終わりには「つながりの？」による新たな疑問を明示することで学習サイクルが明確になるように大変工夫されている。 (3) 単元の導入では、「？を発見」を設け、日常の場面で算数を捉えられることを通して新しい課題に主体的に取り組む態度を育成することができるように、また、単元の最後には「？をかいけつ！」としてまとめる、「つなげたいな」では新たな問いを提示するなどし、児童が算数の世界を広げたいくなるように大変工夫されている。 (4) 巻末に学習内容の定着を図るための「ほじゅう問題」、応用的・発展的な課題を解決する「深めよう」を掲載することで、個々の習熟の程度に対応できるように配慮されている。 (5) 判型をA B判とすることで紙面が整理され、教科書上で作業する際も広く使えるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年の指導内容を詳細に分析し、基礎的・基本的な内容を明確にして、単元の構成が系統的・発展的な配列になるように配慮されている。 (2) 目次に、関連のある既習単元や、次につながる単元を明示することで、学年間や学年を越えた系統的な内容が見えるように配慮されている。 (3) 多様な解決方法を提示し、一人一人の考えを大切に学習ができるようにしたり、問題作りなどの活動を通して、個に応じた数学的活動ができたりするように大変工夫されている。 (4) 学習内容を、数学的な見方・考え方をベースにまとめることによって、異なる領域の内容でも同じ見方・考え方をしていることに気づき、領域を越えて理解が深められるように配慮されている。 (5) イラストで話し合いの場面を挿入し、意識的に対話的な学びに繋がるよう促したり、解決の決め手となる挿絵や作図の場面で道具の使い方が分かる連続写真を入れたりするなど配慮されている。 (6) 各単元末には「考え方モンスターでふりかえろう」を設け、その単元で見つけた見方・考え方をどのように使って学習してきたかを振り返ることができるように大変工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働かせる数学的な見方・考え方を具体的な例によって示すことで、児童が常に意識して使えるように工夫されている。 ・ 日常の事象を算数の目で捉える場面を取り上げ、課題に主体的に取り組む態度が育成できるように配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者	教育出版（小学算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しく学ぶことと既習事項を結びつけ、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように配慮されている。 ・ 数学的な表現を相互に関連させながら、言語活動を通して数学的に考えたり表現したりする力が育成されるように配慮されている。 ・ 単元で学習したことを活用する機会を設け、算数を学ぶ意義を実感できるように工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「たしかめよう」や「ステップアップ算数」を設け、発達段階に適した反復練習が行えるようにし、児童がゆとりをもって学習内容の定着が図れるように配慮されている。 (2) 問題発見や解決の過程を「はてな？→なるほど！→だったら！？」という問いの連続で構成し、数学的活動の充実と主体的・対話的で深い学びの実現が図られるように大変工夫されている。 (3) 単元導入の「どんな学習がはじまるかな？」では、身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるように大変工夫されている。 (4) 単元のまとめの問題には、問題ごとに学習内容のページが記され、自ら学習内容を振り返ることができるように配慮されている。 (5) 児童が読みやすいように鮮明な印刷がされており、学習しやすい紙面となるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 系統性や個々の習熟の程度などを考慮し、既習事項を活用したり統合したりして、学習内容や見方・考え方を関連付けて学習指導できるように配慮されている。 (2) 毎時間の学習の定着と繰り返し学習の機会を設け、基礎的・基本的な知識及び技能が無理なく習得できるように配慮されている。 (3) 「算数のミカタ」や「算数で使いたい考え方」を設け、数学的な見方・考え方を顕在化し、繰り返し用いられてきていることを意識づけ、主体的に活用していけるように大変工夫されている。 (4) 「つながるミカタ」や「つながるミカタプラス」では、見方・考え方について領域を越えてつなぎ、そのよさについての理解を深められるように工夫されている。 (5) 作業的・体験的な活動の場面で動機付けになる絵や写真を用いたり、連続写真を用いて作図の手順を示したりし、絵や写真が指導に生かせるように配慮されている。 (6) 授業のまとめは、知識や技能だけではなく、問題解決を通して見いだした数学的な見方・考え方も振り返り、「なるほど！」の吹き出しを用いて子どもの言葉で表されるように大変工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の問いの連続で学習を進めるように構成され、「問いつづける力」が育まれるように大変工夫されている。 ・ 目的意識や数学的な見方・考え方の顕在化を図り、数学的活動の楽しさや数学のよさが実感できるように配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	啓林館（わくわく算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が主体的に算数を生活や学習に生かすと共に、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるように配慮されている。 ・ 数学的に考える資質・能力を育成するため、数学的な見方・考え方を働かせながら主体的に問題解決できるように大変工夫されている。 ・ 学習を振り返ってよりよく問題解決したり、算数で学んだことを生活や学習に生かそうとしたりする態度を養うことができるように大変工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に照らして、内容や学習展開が系統的に段階を踏んだ構成であり、年間配当時は標準時数よりも余裕を持たせた分量で構成されており、児童が学びやすくなるように配慮されている。 (2) 全ての主問題に「めあて」とそれに対応した「まとめ」が設定され、児童が見通しをもったり、振り返って考えたりすることができるように大変工夫されている。 (3) 単元末の「やってみよう」では、日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動が取り入れられ、単元で学習したことを算数や生活に生かせるように大変工夫されている。 (4) 巻末の「もっと練習」では、自学自習ができる問題が多く掲載され、習熟度に応じて繰り返し取り組むことができるように配慮されている。 (5) 書体は識別がしやすいUDフォントを採用し、配色は色覚の特性によらず児童が読みやすくなるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 全ての児童が学習する必修内容の「本編」と、個に応じて取り組める選択内容の「学びのサポート」との2部構成になっており、一人一人の学びに対応できるように配慮されている。 (2) 単元導入場面には「じゅんぴ」や単元の扉のページがあり、既習事項を振り返り、興味や関心をもって新しい学習へと入っていける学習展開となるように大変工夫されている。 (3) 学びのつながりを重視し、価値付けたい数学的な見方・考え方にマーカーを付して強調することで、数学的な見方・考え方を働かせ、統合的・発展的に考えることの指導ができるように配慮されている。 (4) 「学びのサポート」の「もっと練習」には補充問題、単元末の「やってみよう」には発展的な課題が掲載されており、個に応じた指導に生かせるように配慮されている。 (5) 道具の使い方や作図の仕方などは、手順を細かく分割した連続写真や動画等のコンテンツを用いて、指導に生かせるように大変工夫されている。 (6) 単元末の「学びのまとめ」では評価の3観点に沿って構成され、児童自らが学習してきたことを確かめ、習熟度や興味・関心に応じて振り返ったり発展的に考えたりできるように大変工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が自ら問いをもち、見通しを立てて追究し、主体的・協働的に問題解決に向かうことができるように大変工夫されている。 ・ 児童が数学的な見方・考え方を働かせ、数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考えることができるように大変工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	日本文教出版（小学算数）
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筋道立てて考え、表現するための学び方が示され、思考力、判断力、表現力等を育成できるように配慮されている。 ・ 生活や学習の基盤となる算数の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着できるように工夫されている。 ・ 生活や学習への活用場面のページが充実しており、算数の楽しさやよさを感じられるように配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性</p> <p>（本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年では、体を動かしたり観察したりする問題場面を多く取り入れ、生活科を中心とした他教科と関連した学習ができるように配慮されている。 (2) 「単元アプローチ」で日常事象を提示し、興味・関心を高めながら数理的に考える力を育成できるように配慮されている。 (3) 「つかってみよう」や「算数ジャンプ」、「もっとジャンプ」で、他領域や他教科、日常生活と結び付けた総合的な問題を取り扱い、探究的な内容に取り組めるように大変工夫されている。 (4) 単元前に「次の学習のために」を設け、次の単元に関連した既習事項の確認ができるように大変工夫されている。 (5) 「よみとろう あらわそう」で、数学的な表現を系統的に整理し、様々な数学的な表現を組み合わせるなど、学習した内容を児童が自ら整理できるように配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い</p> <p>（「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価）</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年では同じ領域の単元を分散的に構成し、高学年は学習効率を考慮し関連する内容をまとめた単元の配列にするなど、児童が学びやすくなるように配慮されている。 (2) 既習の内容を適用して、新しい知識を得ようとする場面では、既習との関連を「見方・考え方」で具体的に示し、統合的・発展的に考えられるように大変工夫されている。 (3) 汎用的な数学的な見方・考え方と各場面に応じた具体的な視点を2段で明示し、児童が数学的な見方・考え方を働かせながら主体的に学べるように配慮されている。 (4) 巻末の「算数マイトライ」では、「基礎・基本」「応用・発展」「探究的な問題」を設け、個々の実態に応じた学習指導がしやすいように大変工夫されている。 (5) 挿絵や資料は、本文の情景や関係を具体的に捉えられるようなものが配置され、問題場面を明確に把握・理解できるように配慮されている。 (6) 「学びガイド」や「算数ノートをつくろう」に、その時間や単元の振り返りの仕方が明記されており、児童が自身の学びの過程や変容を自覚することができるように配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した内容を活用する問題を位置付け、算数の世界の広がりや身近さを感じられるように工夫されている。 ・ つながりのある単元や数学的な見方・考え方を明示し、児童が系統を意識し、筋道立てて追究できるように配慮されている。

理 科

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

信州教育出版社

啓 林 館

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新しい理科）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な内容は的確にもられており、問題解決の過程を1本のラインでつないで学びの流れが示されていて、問題解決の能力を育成することができるように構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習内容は、各学年とも児童の発達段階に応じるように配慮されていて、他教科や生活との関連が図られるような工夫がされている。 (2) 予想や考察など思考する場面では、考えやすい事象が明示され、「科学のミカタ」を通じて、働かせる理科の見方・考え方を示し、問題を科学的に解決するための適切な工夫がされている。 (3) キャラクターが学習の段階ごとに次につながるような会話をしていくことで、児童に興味関心をもたせて追究の意欲につなげるような工夫がされている。 (4) 実験方法はイラスト入りで分かりやすく、安全上の注意事項も細かく入っている。 (5) A4判で写真や図絵が大きく鮮明で、配色や文字の大きさがすべての児童にとって見やすく分かりやすいよう適切に配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元の配列や構成は、基礎となる単元を先行し、各単元が季節に適した時期に実施されるよう大変工夫されている。 (2) 「広げよう！理科の発想」や「理科の世界 探検部」のコーナーを設け学習内容をより深めたり、日常生活と関連付けたりできるように工夫されている。 (3) 簡便に実施できる実験の方法が紹介され、どの学校でも実施し易いように配慮されている。考察を深めさせたい部分では、児童の興味をひくような質の高い資料による紙面作りがされている。 (4) 実験・観察のやり方のきけんマークがよく目立って分かりやすい。栽培植物は他学年と共用できるようになっていて、現場の負担を減らすような工夫がされている。 (5) 比較して問題を見つけ、事実を基に考察することができるよう、見開きで写真を並べたり、時系列で配置したりして示す工夫が適切になされている。 (6) 単元末「たしかめよう」や、単元のまとめ「ふりかえろう」で、学習内容の定着が図られるような工夫が大変適切になされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きく鮮明で、資料性の高い写真、図版の掲載により、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるように配慮されている。 ・ 問題解決の課程を1本のラインでつないで学びの流れが示され、児童が見通しをもって学べるよう配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	大日本図書（新版 たのしい理科）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な内容は的確にもられており、問題解決の過程は3色に分けられたラインでつないで学びの流れを示すとともに、活動のヒントとなる「ここに注目」や「コツ」も示され、問題解決の能力を育成することができるように構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「理科の学び方」のページでその学年で大切にしたいことが明示され、児童自身が見通しをもって活動できるように配慮されている。 (2) 単元の冒頭では、身近な話題や生活体験を想起させる写真を取り上げて、新たな疑問を持てるようにし、理科の見方・考え方を働かせて問題解決ができるように配慮されている。 (3) SDGsを随所に登場させることで興味関心を持たせ、主体的に取り組ませるよう、適切な工夫がされている。 (4) 実験方法は写真とイラストで説明し、比べる実験の条件制御にも触れてある。 (5) A4判を生かしたダイナミックな写真で導入し、話し合いの場面のイラストや豊富な情報から、児童の関心や意欲が高まるよう、適切な工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元構成は、活動の内容、方法ともに系統性が見られ、既習事項を振り返りながら理解が進むよう工夫されている (2) 「学びをリンク」や「○○科とつなげよう」、「ほかの教科ともつなげよう」のページがあり、単元や学年、教科を越えて関連性、系統性が図られている。 (3) 実験は複数の方法を示す配慮があり、主体的に方法を選んだり、1つの方法で納得のいく結論が得られなかった時には、別法を試せたりする等、より深い探究ができるように適切な工夫がされている。 (4) 各種水溶液を作る時、ガラス棒でなく、かくはん棒を用いるなど、実験の中でより安全に行うための適切な配慮が多くされている。 (5) ウェブコンテンツへの二次元コードがページ下の定位置に配置され、動画の内容も紹介されているため、必要な場面で使いやすいよう工夫されている。 (6) 単元末に「確かめよう」や「学んだことを生かそう」が設けられており、学習内容の定着や、児童自身も習得した科学的な見方・考え方を確認・評価できるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全単元で問題解決に向けての過程が略されずに掲載されており、どの単元も全体の流れをつかみながら繰り返し活動することで問題解決の力が身に付くよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	学校図書（みんなと学ぶ小学校理科）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な内容は的確にもられており、各単元冒頭には学習内容に合わせて特につけたい資質・能力が示されている。 ・ 単元末には自己評価場面が設定され、見通しをもって主体的に問題解決する力を育成することができるように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の思いや願いが学習の始めに位置付けられており、各学年とも児童の実態に応じるように配慮されている。 (2) 各単元の導入には、生活経験と結びつけて考えやすい事象があり、問題を見つけようから問題が設定され、理科の見方・考え方を育てる工夫がされている。 (3) SDGsを全単元に位置づけることで追究の意欲を引き出し、主体的に行えるようになっている。 (4) ページ一面に実験方法の詳しい説明がイラスト入りで描かれ、実験に入る前の計画がしっかり立てられるよう配慮されている。 (5) 単元の導入では見開きの写真をもとに学習で取り上げたい視点を示し、児童自ら主体的に追究したくなるように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 5年では、ふりこの運動を一番初めの単元に設定し、条件制御の考え方をその後の単元で働かせられるよう、構成が工夫されている。 (2) 「もっと知りたい」のコーナーが随所にあり、単元や学年、教科を越えた関連や実生活とのつながりが示され、継続的な学びへの配慮がされている。 (3) 身近な物を使ってできる実験を紹介する際に、準備物や教材の作り方がくわしく示され、教材準備の部分にもものづくりの視点を入れ、体験的な学習に主体的に取り組めるように工夫されている。 (4) 実験を安全に行うための理科室の使い方を見開き2ページにまとめるなど、安全面がよく配慮されている。 (5) 写真や挿絵がふんだんに使われ、対比や時間経過に沿って提示することにより、事実を基に考察しやすいよう大変工夫されている。 (6) 単元末の「ふりかえろう」では、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元冒頭にこの学習でつけられる力が明示されていて、学習の意欲を引き出そうとする意図が感じられる。 ・ 実験器具の使い方が巻末にまとめられていて、検索しやすい。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版(未来をひらく小学理科)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な内容は的確にもられており、問題解決の過程を一本のラインでつなげて学習の流れがひと目でわかるようになっており、問題解決の能力を育成することができるように構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 巻頭に各学年の目標に沿った学習の進め方が示され、それぞれの学年の発達段階に応じるように配慮されている。 (2) 単元の導入では、身近な問題や不思議を感じさせる写真を掲載し、児童の疑問から学習が始まるように工夫されている。 (3) 特に留意させたいところは「考え方のカギ」として興味を引きつけ、主体的に進めていけるよう工夫されている。 (4) ページ全体を使い実験方法が詳しく示されており、赤と黄色で強調された「危険」マークで注意事項をわかりやすく示したり、裏表紙に「理科の安全の手引き」を載せたりして、安全性への配慮が大変適切にされている。 (5) 見やすく読みやすいUDフォントを使用し、イラスト、写真などはカラーUDですべての児童にとって見やすいような工夫が大変適切にされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元の系統性や、他教科で学習した内容との関連が掲載され、授業の中で活用できるよう工夫されている。 (2) 「見方のカギ」や「考え方のカギ」に、理科で働かせたい見方・考え方が登場人物のやりとりで示され、対話的な学習が進むよう工夫されている。 (3) 探究の過程で、問題の後に、次の予想と実験の間に『計画しよう』という項を入れ、どうやったら調べられるかを考えさせた上で実験に進むようにして、主体的で探究的な学習となるように大変適切に配慮されている。 (4) 資料がSDGsの項目と関連している場合は、関係しているSDGsのマークを示したり、QRコードで関連するウェブサイトを示したりして、環境問題への配慮が大変適切にされている。 (5) 問題解決や実験・観察の流れを線で示し、写真、さし絵、図表の内容と本文との関連が分かりやすく示されている。 (6) 単元末の「確かめよう」や、巻末の「〇年で学んだこと」で、学習内容の定着が図られるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な問題や不思議さを感じさせる写真や対話をもとに、児童の疑問から学習が始まるように配慮されている。 ・ 問題解決の流れを線で示し、理科で働かせたい見方・考え方や自分の成長を対話で示すことで、主体的で探究的な学習になるよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	信州教育出版社（楽しい理科）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県の地域性や児童の生活経験、実感を重視して、自然事象への理解と定着が十分に図れるよう構成されている。 ・ 問題解決を図るための根拠ある予想や仮説、確かめるための方法を発想できるように吹き出しで語らせるなど適切な配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 電気や音などの目に見えないものについての単元では、実験を多く行うことで事象への理解を深められるようにするなど、学習内容の程度や分量が、各学年とも大変適切に配慮されている。 (2) 長野県の豊かで特色ある自然と関連させ、児童が身近な事象や生活経験から問題を見だし、問題を科学的に解決できるよう大変工夫されている。 (3) 問題を見つけ出すまでの過程が丁寧で、解決への意欲につながる。実験方法がコンパクトに図示され、一目で分かるようによく配慮されている。 (4) 実験方法が簡潔に記述され、安全上の注意事項は記号を使い目立つように記述されている。 (5) 単元のはじめに、身近な長野県の自然や児童の写真を取り入れ、興味・関心や問題意識を高める工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 長野県の気候に合わせて学習できるよう単元の配列が工夫されており、児童の意識の流れを大切に、連続的に展開されている。 (2) 「しりょう」や「やってみよう」、「ものづくり」があり、理解を深めたり、日常生活と関連付けたりできるとともに、中学校との関連性や系統性も十分に図られている。 (3) 写真や資料は、長野県で取材したものが多く使われ、身近で親しみのある内容になっている。豊富に実験や観察の内容が紹介され、体験的な学習を通して主体的に内容が身に付くようによく配慮されている。 (4) ものづくりの紹介が多くされていて、学んだ理科的な内容をものづくりに生かす教科書づくりがされている。 (5) 観察カードや吹き出しの言葉に具体性を持たせたり、直接観察が難しい学習で、写真や絵図を多用したりして、問題を継続的・主体的に追究できるようによく工夫されている。 (6) 単元末の「ふりかえろう」では児童のレポートのような形でまとめが位置付けられ、まとめの観点が明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気候の変化に合わせて単元の構成や配列が工夫されており、児童が身の回りの自然から学ぶことができるよう大変適切に配慮されている。 ・ 長野県の特色ある自然や、身近な教材を多く取り入れており、児童が身近な事象から問題を見だし、意識の流れに沿って主体的かつ連続的に問題解決がされるよう適切に配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	啓林館（わくわく理科）
1 教科の目標からの 配慮	<ul style="list-style-type: none"> 必要な内容は的確にもられており、問題解決の過程を1本の破線でつないで学びの流れが示されている。新たな問題発見を促す構成で問題解決の能力の学びの連続性への工夫がされている。
2 児童の学習活動への 配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意 性 本文、見出し、設 問、提示文等の表 現、さし絵、写真、 図表、配色、コン トラスト等	<ol style="list-style-type: none"> 各学年とも学習内容の程度や分量が、児童の発達段階に応じるように配慮されており、問題解決の流れが分かりやすく示され、学びの見通しがもてるようよく工夫されている。 予想や考察の場面では、児童の会話の中の理科の見方・考え方にマーカーがひかれ、この単元で大切にしたい理科の見方・考え方を意識しながら学習できるように大変工夫されている。 問題をつかむところから、まとめまで一連の流れが図示されているので、追究がしやすくなっている。 「問題」の次の「予想と計画」で、比べる実験での条件制御について注意を促している。 児童や自然の様子を伝える写真や資料により探究心を高め、意味改行やUDフォントによりすべての児童に読みやすく工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的 な知識・技能の習 得」のための工夫、 「思考力・判断力・ 表現力等の育成」の ための工夫、「主体 的に学習に取り組 む態度を養う」た めの工夫、関連性・連続 性、個に応じた指導、 他者との協働、ま とめと評価	<ol style="list-style-type: none"> 学年の単元の構成は、児童の意識の流れを大切にして学習指導できるよう配慮されている。 「理科の広場」や「活用しよう」、「くらしとリンク」で学習内容と実生活とのつながりを示し、関連性や連続性が図られている。 実験を上手に進めるための工夫や児童が間違いやすいポイントへの配慮が的確にされていて、児童が主体的に探究しやすいような展開になっている。 STEAM教育を教科書作りに取り入れ、理科と技術、ものづくり、芸術、算数とリンクした教科書作りをおこなっている。 問題解決の流れに沿って、写真や絵図を的確に配置してあり、児童自ら見通しをもって学びやすいように工夫がされている。 単元「ふり返ろう」「たしかめよう」「活用しよう」では、学習内容の確認と定着が図られるように大変よく工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> 実験をうまく進めるための工夫や新しい実験の方法を積極的に取り入れ、現場での使いやすさに配慮している。 STEAM教育の視点を取り入れ、教科横断的に児童の興味を広げるような配慮がされている。また、紹介されている資料も新しくてよい。

生 活

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

信州教育出版社

光村図書出版

啓 林 館

日本文教出版

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	東京書籍（新編 あたらしいせいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領で示された育成を目指す資質・能力が紙面で分かりやすく具体化され、生活科の学びが見えるように構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムのページ数を多くとり、児童が意欲的に学習に取り組めるように工夫されている。また「保護者の皆様へ」というメッセージが随所に散りばめられ、親子で内容を確認し合いながら学習していけるように配慮されている。 (2) 巻末に実物大の生き物図鑑が示され、児童が自分の力で実物を見つけたり、名前を調べたりしやすいように工夫されている。 (3) ページの左端に評価基準を示すマークがついている。また、そのマークは児童が抱くであろう思いに近く、指導と評価の一体化を目指す上で大変有効である。 (4) 数多くの遊びやものづくりが紹介されており、児童の興味関心をひくとともに、多様な活動・体験に対応できるようになっている。 (5) 各単元の初めのページは、ダイナミックで明るく大きな見開き写真と児童の吹き出しで、児童の活動への思いを喚起・醸成し、スムーズな導入が図れるよう適切に工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 導入・展開・まとめが見開きページで配列され、児童・教師ともに単元や授業の見通しをもつことができる構成になっている。 (2) 扉ページの小写真や吹き出しが、これまでの経験を想起させたり、活動の見通しをもたせたりすることで、児童の思いや願いが醸成され、スムーズな導入が図れるよう工夫されている。 (3) 「学びをふかめる」コーナーで、言語活動を通して気づきの質が高まる姿を具体的に紹介することで、深い学びの過程が例示されている。 (4) 外国籍の児童や車椅子を利用している児童など、多様な友と活動しているイラストの掲載やSDGsの観点からの活動例が紹介され、多様な児童が共に学べるよう配慮されている。 (5) 遊びやものづくり、活動事例が、魅力的な写真やイラストで数多く紹介されており、体験が難しいことも学びとして扱うことができるよう適切に工夫されている。 (6) ふり返りの時間の様子の紹介が充実しており、クラスでの様子がイラストでわかりやすく示されていることで、授業のイメージが持ちやすい。また、学習カードや動作化、ICTを活用した表現作品など、具体的な活動のイメージがもてるよう、多様な表現方法が掲載され、ふり返り活動の気づきの質を高め、広める工夫もしている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見開きのダイナミックな写真ページで、児童の意欲を喚起し、知的好奇心を刺激するよう工夫されている。 ・ 育成を目指す資質・能力がわかりやすく示されているため、どのような姿を目指すのか明らかになり、授業イメージを描くことが容易である。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	大日本図書（新版 たのしいせいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な人・地域・自然に関心をもち、進んでそれらと関わり、楽しく生活しようとする意欲や、実際の体験から生まれる喜びが活動の中心になるように構成されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 上巻冒頭に、スタートカリキュラムに配慮したページが作られており、学校生活の楽しさを感じるとともに、不安を解消し、安心して学習が進められるように配慮されている。 (2) 「働く人」との交流や取材・まとめ、発表など、一連の学習活動を通して、地域の働く人と積極的に関わろうとする内容にすることによって、子どもたちが意欲的に学べるよう、配慮されている。 (3) 児童の思いや願い、気づき、活動のヒントなど、特に注目してほしい点に関しては、イラストや吹き出しで子どもに分かりやすく表現し、多様な活動を促すように工夫されている。 (4) 町探検を経て、見つけた町の人の魅力をきっかけに自分の中の良さにも目を向け、自己の成長を意識するように配慮されている。 (5) 本時の活動のめあてが各ページの吹き出しに書かれており、子どもがその活動で何をするのか分かりやすい。子どものイラストの会話に投げかけや子どもの気づきにつながるような表現がされており、児童の学習意欲を高める工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 上巻「だいすき」では、学校生活や身近な自然などに関わる単元が、下巻「ひろがれ」では、おもちゃ作りや、身近な地域などに関する単元が設けられている。 (2) 主体的・対話的で深い学びとなるように、単元の導入ページで見開きの大きな写真を掲載し、活動への思いや願いが醸成され、スムーズな導入が図れるよう工夫されている。 (3) 繰り返し身近な社会や自然と関わられるように、学習に関連した写真やQRコードが掲載されている。 (4) 「楽しさひろがれわたしのおもちゃ」では、発見したことや工夫したことをクラスの友だちと意見交換をすることで、新しいことを試したり工夫したりと、次の活動へつながる構成となっている。 (5) 単元ごとに関わる対象が明確になるような写真が掲載されていたり、イラストで描かれたりしている。 (6) 各活動単位で学習カードや作品など、子どもが表現した物の例がある。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見やすさ・読みやすさに配慮したUDフォントを使用したり、カラーUDをふまえた配色を工夫したりしている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	学校図書（みんなとまなぶしょうがっこう せいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見通しをもって自己決定しながら願いを達成する中で、目指す資質が自然と身に付くように配慮されている。 ・ 振返りの場面が充実しており、自分自身の変容や成長、自分自身のよさに気づいたり、更に興味関心が広まったりするよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 入学直後の児童が安心して学校生活に対応できるように、スタートカリキュラムを位置づけ、自分でできることを大事にした内容にすることで、子どもたちの意欲を高める工夫がされている。 (2) 材との出会いを大事にした内容となっており、活動の広がり、児童の主体的な取り組みを促すように配慮されている。 (3) 4人の主人公が対話しながら活動を進めていく形式になっており、伝え合う活動を意識した内容になっている。 (4) 多くの活動例を紹介しており、児童一人一人の体験や思考に対応している。「やってみたい」という願いを支え、活動の幅が広がるよう工夫されている。 (5) 各単元の初めのページは、見開きになっていて、明るい大きな写真・児童の思いに沿ったタイトルで、児童の期待感が高まるようになっている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 上巻では学校や学校の周辺、下巻では地域へと広がるなど、子どもたちの発達段階に合わせた単元の構成になっている。 (2) 4人の主人公が見方や観察の仕方などの例を示していたり、「ものしりノート」では、まとめる時の書き方を紹介していたりと、工夫がなされている。 (3) 主人公や写真の児童の吹き出しの中に、疑問や迷いを盛り込むことで、実際に児童が解決策を考え、試行錯誤していく上での気づきの質を高められるよう配慮されている。 (4) 発達段階や学習内容にあった伝え合う活動や交流する活動が組み込まれている。 (5) 実際の活動の様子が豊富な写真で紹介されており、児童が具体的な活動の見通しを持てるよう配慮されている。 (6) 振返りの場面では、学習カードの見本が多く紹介されており、新聞・作文など様々な活動が紹介されている。また、単元内で書いてきた学習カードを一覧で紹介するなど、自らの成長や学びの深まりを実感することができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTの活用など今日的な教育課題にも配慮されており、誰もが意欲的に学べるような配慮がされている。 ・ 豊富な情報量や子どもの意識に沿った吹き出しなど、見通しをもって学習できるよう配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版（せいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・生活上必要な習慣や技能を「やくそく」や「学びのポケット」で活動と知識が連携して学習できるように配慮されている。 ・振り返りカードや学習カードの例が大きく掲載されており、単元末の「何を感じたかな」で自分との関わりでとらえた見方・考え方が位置付き、意欲や自信を持って表現できるような工夫がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムとして、園での生活を想起しやすいようになっていて、安心感を持って学校生活や学習を始められるようになっている。また、児童の発達段階に沿って、活動内容や情報量が豊かになるように大変配慮されている。 (2) 子どもの生活や遊びの様子、活動を体験している写真が多く、また子どもの身近な生活と結びついた具体的な活動例があり、主体的に学ぼうとする動機づけの工夫や、自分との関わりで捉えて活動が深まるような工夫がされている。 (3) 主体的な活動の動機づけができるように、経験や意欲を喚起する「わくわくスイッチ」のページが設けられている。学習カードや表現活動の例が大きく掲載されていることで、伝え方の見通しが持てるように工夫されている。 (4) 「わくわくスイッチ」の動機づけの段階で多様な学び方を選択することができ、個の学びを保証しながら「はっけんロード」で自ら活動や体験を深めていくことができるよう配慮されている。 (5) めあてが大きなフォントで端的に示されており、それに伴う活動の写真が大きく示されているため、どの児童にも学習の見通しを持ちやすい工夫がされている。全体的に文章が端的で、対話型になっていることで、子どもの思考が深まるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 生活科の学習目標を「六つの力」として各ページに示すことで、目標や内容がわかりやすくなっている。 (2) 主体的な活動の動機づけができるようなページやワークシートが用意されており、また生活科の見方・考え方を生かした学習活動とSDGsが結びつけられるように配慮されている。 (3) 活動中の気付きを促し、「はっけんロード」と「はてな」のキャラクターで、つまずきやその解決方法を示し、自己課題と照らし合わせて試行錯誤していく上での気づきの質を高められるよう配慮されている。 (4) 身近な人々と交流して伝え合う活動が様々な単元で設定されており、交流を通して感じたことや気づいたことを、位置付けて学習が深まるよう配慮されている。 (5) ICTを活用した活動例が豊富で、個の学びを助ける動画や写真が見られる二次元コードが配置されている。 (6) 単元末に「書き込み欄」や「ぐんぐんハシゴ」で自己評価をし、学習内容が定着し、次への活動に繋がるよう配慮されている。活動のまとめの活動例が豊富に掲載されていて、振り返りの仕方の手がかりとなるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・「わくわくスイッチ」や「ヒント」を手がかりに、めあてに沿った多様な活動を見童が主体的に選択し、「学びに向かうの力」が育つよう工夫されている。豊富な写真や二次元コードから見ることが出来るデジタル図鑑、「学びのポケット」が、学びの幅が広がるよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	信州教育出版社（せいこつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通して、長野県ならではの文化や風土を取り上げ、季節ごとの具体的な体験や活動を通して、様々な事象や出来事を自分との関わりの中で捉え直し、自分自身の育ちや変化に気づけるよう配慮されている。 ・ 事象との出会いや関わりから生まれる子どもの問いや願い、また、それらを解決しようと探究し続ける、その子らしい「学びの道筋（過程）」を大事に考えた構成になっている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムのページを位置づけることで、子どもが見通しをもち、意欲的に学習に取り組めるように工夫されている。また、家庭へのメッセージを掲載し、保護者も学び手となり、子どもと共に暮らしを創っていけるよう配慮されている。 (2) 子どもの一年間の歩みに合わせ、長野県に根ざした行事の由来や遊び、身近な人々や自然と関わる活動が展開されている。また、低学年、特に入学期の子どもの発達の特徴を考慮し、遊びや活動を重視し、暮らしの中心となる学習を教科等横断的に展開できるようにしている。また、大型動物との暮らしを紹介するとともに、アサガオを育てる活動では、学習の終末「材との別れ・感謝」を大事に位置づけている。 (3) 動植物との印象的な出会いと、子どもの問いや願いを実現するための継続的な関わりを大切に息の長い活動を位置づけ、その中で生じる問題を解決しながら、自分らしく成長する子どもの姿が描かれている。 (4) 活動の節々における「感動体験」、試す・確かめるなどの「探究活動」、学びの道筋を見返し味わう「表現活動」を多様に示し、協働的な学びにつながるよう、友だちとの学び合いや情報交換の場を位置づけている。 (5) 魅力的な材や子どもの豊かな表情を映し出した写真、各季節の様子を比べながら学習できる見開きページのレイアウト、各章の参考写真を必要に応じて取り出せるQRコード等により、子どもの思考を深めたり、探究活動の質を高めたりできるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 年間を通じて、子どもが意識を連続させながら材と関わる中で、自分自身の成長や変化に気づいていけるよう単元配列が工夫されている。 (2) 学習の場面設定が、子どもの身近な材（地域の自然、行事、人々等）と結びついており、子どもが自分事として、生活に照らし合わせながら学ぶことができる。 (3) 長野県ならではの伝統的な行事や季節の様子にふれ、様々な人と関わりながら、興味関心をもって事象の本質に迫っていくことができるよう配慮されている。 (4) 外国籍の子どもや車椅子を利用している子どもなど、多様な人と交流するイラストを掲載し、安心して協働的な学び合いに参画できるように誘い、その中で自分らしく探究していけるよう配慮されている。 (5) 長野県内の学校の実践から生まれた作品やエピソードが掲載され、実際の子どもたちの姿や様子を映し出した写真が紹介されており、地域性や季節を感じながら学習できるように配慮されている。 (6) 幼児期の体験をもとに、材と出会い直し、自分の歩みをふり振り返りながら、絵や作文、作品づくりなどの活動を広げたり深めたりしていけるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県ならではの生活に根ざした材をめぐり、子どもの問いや願いから学びが始まり、子どもの意識の流れを大事にしながら、学びが深まっていくよう工夫されている。 ・ 長野県にゆかりのある材を多く取り上げることで、児童が親しみを抱いたり、地域の方や保護者との対話を深め、思いを共有したりすることができる。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	光村図書（せいかつたんけんたい）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の生活圏を学習の対象や場として身近な人々から社会及び自然までを自分との関わりでとらえ情操を豊かに育むことができるよう配慮されている。体験を重ねることによる志向の深まりについて重点を置かれた構成がなされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) どの単元も「導入」「展開」「振り返り」という学習過程を見通しやすい単元展開になっており、入学したばかりの1年生も安心して学びに取り組めるような配慮がされている。 (2) 材との出会いを大切にした内容となっており、活動が深まっていくよう工夫されている。 (3) 大きな写真や絵を見て発見するという幼保で馴染み深い活動から始めることで、気付きを伝え合い活動が深まるよう工夫されている。問いかける形で書くことで、自分たちで考える余地を残し、自ら考えたり友だちと考え合ったりできるように工夫している。 (4) 単元に即した多様な資料として別冊「きせつのなかまたち」「ひろがるせいかつじてん」をつけることで、個の学びに対応したり、日常に広く役に立つ力を身に着けたりできるよう工夫されている。あえて地域の特色を色濃く出さず、さまざまな地域の様子を取り上げることで多様な地域の実情に合わせて工夫して活動を作り出せるよう配慮されている。 (5) すべての単元で、学びを深めていくときの試行錯誤のポイントを「学び方のヒント」として示している。資料に明るく大きな写真が使われており児童の学習意欲を高める工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、 「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 扱う季節に即した単元配置がされ、教師・児童ともに単元の見通しが持てるような構成になっている。下巻では既習事項と中学年で学びのつながりを意識した表記がされ、その連続性が図られている。 (2) 主体的・対話的な学びにつながるよう、単元の導入では目を引く写真や児童に問いかける吹き出しが使われ、児童の関心が高まる工夫がされている。 (3) 写真の児童の吹き出しの中に疑問やそれを解決するためのヒントを盛り込むことで、児童が解決策を考え試行錯誤する活動につながる工夫がされている。 (4) 身近な人々と交流して伝え合う活動例が写真で提示されており、交流を通して感じたことや気付いたことを学習の中で位置づけられるように配慮されている。 (5) 子どもの目線から撮影されたダイナミックな写真を使用し、子どもの関心を引く絵本教材の採用をすることで、心と体が動き出すよう工夫されている。QRコードコンテンツはアニメーションや動画で作られており、児童にとって分かりやすいものとなっている。 (6) 求められる資質・能力を14種類に整理し、振り返り・評価で活用できるように配慮されている。振り返る項目が、イラスト付きで提示されており、児童が何を振り返ればよいか分かりやすい工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイナミックな写真や絵本作家のイラストを有効に使うことで子どもの興味を高め、意欲を持って学習に取り組める工夫がされている。 ・ 振り返りは低学年の児童にとって端的で分かりやすい表現がされている。育成を目指す資質・能力が分かりやすく示されているため、どのような姿を目指すのか教師も分かりやすく、授業イメージを描くことが容易である。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	啓林館（せいかつ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の興味・関心を喚起し、具体的な活動や体験を促すきっかけになるよう工夫され、児童が体全体で身近な環境に直接働きかける創造的な学習活動が行えるように配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) スタートカリキュラムに関する単元を掲載し、幼児期に育まれた資質・能力を発揮しながら、楽しく安心して学校生活を始められるように大変適切に配慮されている。 (2) 単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成され、児童の活動が深まっていくよう工夫されている。 (3) 言葉、絵、動作、劇化、ICTの活用など多様な表現活動が適切に配置され、児童の思考がより深まり、主体的で豊かな伝え合い活動ができるように配慮されている。 (4) 「ひろがるきもち」コーナーを設け、生活科での学びが日常生活に広がり、児童が自立し生活を豊かにしていけるように大変配慮されている。 (5) 紙面にQRコードが掲載され、動画を見たりや実際の音声を聞くことができ、児童の学習意欲を高める工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 季節に沿って単元が配置され、他教科や中学年へのつながりを図りながら活動が広がり、深まっていくように配慮されている。 (2) 紙面右下に児童の言葉で次につながる思いや願いが書かれ、それにより児童自身の気づきが喚起され、広がるように工夫され、児童が主体的に活動に取り組めるように配慮されている。 (3) 紙面適所に学びのキーワードを設け、多様な学習活動の例を示すことで児童が様々な角度から思考し、繰り返し対象と関わる学習活動となるよう配慮されている。 (4) 観察カードや作文、タブレットで撮影した写真などの具体例や、グループで話し合ったりする活動の様子を掲載して、他者と意見交流をすることで自分の考えを広げたり、深めたりする姿がイメージできるように配慮されている。 (5) 上巻では実物大の写真が掲載されており、児童の興味・関心を引き出すよう工夫されている。登場人物のつぶやきや対話が単元のねらいに沿って効果的に掲載されている。 (6) 「できるかな できたかな？」のコーナーでは、学習過程や成果を振り返る児童のつぶやきが書かれていて、自らの成長や学びの深まりを実感することができるよう適切な工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTの効果的な活用が例示され、個別最適な学びや協働的な学びの中から、気づきの質が高まっていくように配慮されている。

音 樂

教 育 出 版

教 育 芸 術 社

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版（小学音楽 音楽のおくりもの）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低・中・高の各学年の目標及び内容を踏まえた精選された題材と教材により、音楽科の目標達成のための必要な内容が的確にもられている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）	<ol style="list-style-type: none"> (1) リズム、音域、歌詞の内容など、各学年にふさわしいグレードの教材を発達段階に合わせて系統的に配置されている。 (2) 各学年に「学習マップ」として1年間で学習する内容が端的に示されており、学習の見通しをもったり、「音楽のもと」を手がかりにして友だちと伝え合ったりできるような展開がされている。 (3) 個別最適な学びや協働的な学びに配慮された紙面構成であり、知識の習得や、思考力・判断力・表現力等の育成につながる発問例を「まなびナビ」等に掲載しており、子どもの主体的・創造的な音楽活動に必要な配慮がされている。 (4) 豊かな音楽活動を楽しむ題材や教材が豊富にあり、楽曲のイメージに合うイラストとともに楽曲のよさや美しさを感じることができるような工夫がされている。 (5) 子どもの主体性を生かす活動や歌詞の内容に忠実な写真、紙面内容の視認性など、子どもが自ら学習に向かえるようデザインされ、音楽を視覚化して表す配慮や内容の理解を深めるような配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) [共通事項]の「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として示し、子どもたちの学習が深まるよう丁寧なステップアップを取り入れ、基礎的・基本的な内容が学べるように配慮されている。 (2) 音楽的な見方、考え方を働かせ、子どもたちの主体的・協働的な学びを引き出しながら、子どもたちの「学びたい気持ち」を大切にはぐくむよう、内容の関連や発展を生かした学習展開が工夫されている。 (3) 主体的・協働的に表現を楽しむ題材があり、楽曲のイメージに合うイラストとともに学習の進め方が示されており、見通しをもちながら多様な音楽活動を主体的・対話的に体験できるよう配慮されている。 (4) 題材構成された主要部分と選択可能なオプション部分等で構成されており、その組み合わせ方により、地域の特性や児童の生活体験や個人差に応じた弾力的な指導が可能になる。 (5) 共通教材の歌詞のページや、折り込みのワイドな写真、イラスト、挿絵を豊富に掲載し、楽曲の背景を掴みやすいよう工夫されている。 (6) 巻末に『「音楽のもと」まとめ』のページが示され、音楽の縦と横の関係や反復・変化等についてまとめられている。
4 全体の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「音楽のおくりもの」「さんぽ」を全学年に掲載し、低・中・高の各学年の発達段階に合わせた編成で、全校でひとつの曲を歌う一体感や楽しさを体験できるよう配慮されている。また、教科書の二次元コードをタブレット端末で読み取ることができる「まなびリンク」が多数用意されており、奏法や解説動画等のウェブへ簡単にアクセスできる。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育芸術社（小学生の音楽）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> 低・中・高の各学年の目標及び内容をふまえて精選された題材と教材によって、必要な範囲の内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> 楽曲や歌詞の内容、音域などについて子どもの心身の発達段階に応じて十分に考慮されている。また、楽譜や文字の大きさや鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの演奏の技能についても、発達段階を考慮した無理のないステップがふまれている。 子どもが自ら進んで学習活動に取り組むことができるように、学習の目標や具体的な活動例、ヒント、資料などが豊富に用意されており、音楽の見方、考え方を働かせながら、協働して音楽の理解が深まるような展開がされている。 子どもの心情に即した新鮮でアイデアに満ちた教材が扱われており、興味・関心をもって学習を進めることができる。また、「音楽づくり」の教材についても着実に積み重ねができるように配慮されている。 歌詞の内容に配慮した歌唱教材やいろいろな構成の器楽教材、自信をもってつくることができる音楽づくり教材、多種多様な鑑賞教材が選ばれており、楽曲のよさや美しさを感じることができるような工夫がされている。 主に4人の子どもとナビゲーターのキャラクターを登場させ、それぞれの学習内容に応じて表情やしぐさを変えたり、活動している様子を表したりして、子どもたちの興味・関心を引き出すような配慮がされている。また、音楽を視覚化して表したり内容の理解を深めたりするような配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> 題材は、学習指導要領に示されている低・中・高の各学年の目標及び内容をふまえて構成されており、各学年、全学年を通して系統的・発展的に組織され、基礎的・基本的な内容が無理なく身に付くような配列がされている。 系統性、発展性をもって組織化された題材を軸に、表現と鑑賞の教材が関連、対照、対比しながら組み合わせられており、内容の関連や発展を生かした学習展開が工夫できる。 活動文にある「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」マークやキャラクターの吹き出しなどにより、多様な音楽活動を主体的・対話的に体験できるよう配慮されている。 学習内容や関連教材などが有機的に組織されていたり、程度の差を考慮した教材が扱われていたりすることから、地域の特性や児童の生活体験及び個人差に応じた指導ができるような弾力性をもっている。 イラストや写真の取り上げ方はアイデアにあふれており、学習意欲を高め、音楽を視覚化して表したり内容の理解を深めたりするような配慮がされている。 その題材で学んだことを振り返ることができるまとめを掲載し、児童が「何を学んだのか」「何ができるようになったのか」について確認できるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> 題材ごとに通し番号がふられ、インデックス（小口見出し）によって題材のまとめや共通事項がわかりやすく示されるなど、見直しをもって学習することができるように工夫されている。また、教科書の紙面右上の二次元コードを読み取ることで、タブレット端末で豊富なコンテンツにアクセスすることができる。

図画工作

開隆堂出版

日本文教出版

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	開隆堂出版（図画工作）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科目標の「学びに向かう力，人間性等」を「心を開いて楽しく活動し，友達とのかかわり，協力する力」と読みかえ，児童の「学習のめあて」として題材ごと設定している。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文，見出し，設問，提示文等の表現，さし絵，写真，図表，配色，コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年の内容系統に準拠した題材，材料や用具が適切に取り扱われ，目指す資質・能力がキャラクター化して示され，児童にも分かりやすいよう配慮されている。 (2) 見開きページに一題材が構成され，完成作品，製作過程や児童のつぶやき等が示され，製作意欲をもてるように配慮されている。 (3) 発達段階に応じた題材名と造形活動を想起できるイラストやリード文で構成され，番号を付けて見やすくするなどの配慮がされている。 (4) 巻末の「学びの資料」では，材料や用具を安全で適切な扱いができるように，見やすくまとめられ，題材の中の「安全」のコーナーでは，用具だけではなく，造形活動の中での安全面の配慮がされている。 (5) 背景が淡い色調で構成されており，作品や児童の製作過程，コメントなどが見やすいように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫，「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫，「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫，関連性・連続性，個に応じた指導，他者との協働，まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年で学んだ既習事項を発展させた形で次学年の題材が配列され，育成を目指す資質・能力が身に付くよう配慮されている。 (2) 「小さな美術館」という図画工作科の見方や考え方を広げるきっかけとなる鑑賞のコーナーが設けられ，鑑賞で得た表現方法を製作に生かすことができるように配慮されている。 (3) 巻末の「みんなのギャラリー」では，友との共同製作を促す題材だけではなく，地域の人や地域の伝統工芸との協働活動が明記されている。 (4) 知識及び技能を習得しながら，思いに合わせて表し方を工夫できるよう材料や用具の取り扱いについて，写真やイラストで説明されている。 (5) 左側のページから右側のページに掛けて製作過程が構成され，複雑な製作過程のある題材では，製作過程順に番号が付けられるなど，それぞれの製作段階に応じた指導が行えるよう配慮されている。 (6) 各題材のめあてに応じた「ふりかえり」の場が設けられ，児童に問いかけるようなコメントで自分の製作活動の過程を振り返ることができるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科横断的な学びを意識した構成となっており，各題材には，他教科との関連が具体的に示されている。 ・ 地域との連携，人やくらしとのつながり，平和，未来創生など生活や社会と豊かに関わる態度の育成を促す事例が多く紹介されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	日本文教出版（図画工作）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科目標（知識及び技能，思考力・判断力・表現力等，学びに向かう力・人間性等）に準じて，児童に伝わりやすい言葉で題材ごとにねらいを設定している。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文，見出し，設問，提示文等の表現，さし絵，写真，図表，配色，コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年の内容を系統的に準拠した題材，材料や用具が適切に取り扱われ，目指す資質・能力が育成されるように配慮されている。 (2) 見開きページに，一題材の製作過程の写真と児童のつぶやき等が示されており，児童が学習意欲をもてるよう配慮されている。 (3) 実際の授業を取材して撮影した情景写真の多用により，児童が好奇心や意欲がもてるよう配慮されている。多様な掲載作品が選定されていて，様々な発想や構想，工夫ができるように配慮されている。 (4) 各題材の「気をつけよう」，巻末の「材料と用具のひきだし」では，児童が多様な材料や用具の基本的な扱い方やポイントを学べるよう工夫されている。 (5) 絵の題材を線で囲わないことや立体作品には影をつけることなどで，児童にとって見やすい工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫，「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫，「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫，関連性・連続性，個に応じた指導，他者との協働，まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 下巻巻末に既習内容が想起できるページがあることで，低中高学年の学びを連携させている。幼児期との接続から中学校との接続題材までが構成されており，発達段階を踏まえた題材配列が工夫されている。 (2) 各題材において，見開きページの中に表現のヒントと鑑賞のヒントが記され，表現と鑑賞を関連させて学習できるよう工夫されている。 (3) 各題材ページにおける見やすい吹き出しによって，活動中の対話を促したり作者の思いを表したりすることで，協働的な学びが促されるよう配慮されている。 (4) 準備品・表現のヒント・片付けの仕方・安全上配慮すべき点が，各題材において明示されている。 (5) 地域・時代・表現方法・材料・サイズなどが多様な作品が掲載され，地域や学校の実態に合わせて題材を選択したり組み合わせたりできる。 (6) 作品コメント，ワークシート，アイデアスケッチを紹介することで，表した過程を振り返ることができ，自己評価の観点が明確になるよう工夫されている。また，ねらいと評価の一体化が図られることで，評価の観点が明確になっている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「1・2上」の最初のページには文字がほとんどないなど，児童の発達段階に合わせた文字や漢字を用いている。 ・ 長野県の美術館の取り組みや美術作品などが取り上げられ，児童に親しみやすいように配慮されている。

家 庭

東 京 書 籍

開 隆 堂 出 版

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい家庭）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や家庭、衣食住、消費や環境などの日常生活に必要な理解や技能が実践的・体験的な活動を通して身に付けられるよう配慮されている。 ・ 実生活と関連を図った問題解決的な学習を3ステップで効果的に取り入れ、課題を解決する力が育てられるよう工夫されている。 ・ 各題材の導入に「家庭科の窓」を設置し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育てられるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）	<ol style="list-style-type: none"> (1) 衣食住に関する内容が、5年生と6年生で関連をもって配置され、基礎から応用へと、児童の発達段階に応じて系統的に配列されている。 (2) 題材の導入で身近な生活の問題を「見つめよう」と提示し、問題解決的な学習を3ステップで配置することで、学んだことを生活に生かせるよう題材が構成されている。 (3) 実践的・体験的な学習例や、児童の主体的・対話的な学びにつながる活動例が豊富に取り上げられたり、生活をみつめ課題を発見するための思考ツールコンテンツを工夫したりして、児童が実感を伴って理解できる学習展開となるよう配慮されている。 (4) 安全・衛生に関する特集ページが巻頭に設けられ、食物アレルギーの症状が示されたり、本文中にマーク・チェック欄を掲載したりして、安全面や衛生面について注意喚起するよう配慮されている。 (5) 児童のイメージを膨らめる実習製作の例や具体的な手順を示した写真やイラストがコントラストや配置に工夫して掲載されている。豊富な情報量の二次元コードや爪見出し等の工夫があり、児童の意欲を高めるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 他教科や中学校技術・家庭科と関連させ、統一感を持って学習できるよう組まれている。持続可能な社会の構築を消費者教育と合わせて第4大題材として扱い、環境や資源を大切にす態度の育成に配慮されている。 (2) 日本の伝統について随所に資料が載せられ、関心を高めるきっかけとなるよう配慮されている。「生活を変えるチャンス！」を設け、学んだことを家庭や地域と連携し、実践的な学習活動が展開できるよう配慮されている。 (3) 各大題材の最初に「家庭科の窓」を位置付け、生活の営みに係る見方・考え方の視点を意識して、学習できるよう題材の取り扱いがなされている。「話し合おう」などの活動の種類が適切に配置され、児童が主体的協働的に学習を進められるよう構成されている。 (4) 長期休みに行う「生活の課題と実践」では生活を見つめ家庭との連携しながら学習が発展する内容で構成されている。個別に学んだことを他者と対話しながら考えを深め、資質・能力の習得につながるように題材が構成されている。 (5) 持続可能な社会、SDGsでつくる私たちの未来、くらしの中のプログラミング、プロに聞くなど、時代の進展に応じる内容が掲載されている。多様性への理解を促すように配慮されたキャラクターやイラストを用いて、共生の視点に気づけるように工夫されている (6) 題材の各ステップのめあてに呼応した「できたかな?」「ふり返ろう」の欄と、題材全体を振り返る「成長の記録」が設けられ、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各ステップでの振り返りとともに、2年間の学びの記録が作成できる「成長の記録」により、自己の成長を実感できるよう工夫されている。 ・ 5、6学年とも同時期に関連する内容が配置され、複式での指導がしやすいように配慮されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	開隆堂出版（わたしたちの家庭科）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や家庭、衣食住、消費や環境などの日常生活に必要な理解や技能が実践的・体験的な活動を通して身に付けられるよう配慮されている。 ・ 実生活と関連を図った問題解決的な学習を3段階の過程の中で効果的に行い、課題を解決する力が育てられるよう工夫されている。 ・ 生活の営みに係る4つの見方・考え方を各題材に示し、それらを働かせながら家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育てられるよう配慮されている
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）	<ol style="list-style-type: none"> (1) 衣食住に関する2年間の内容が既習事項を生かせるよう配置され基礎から応用へと、児童の発達段階に応じて系統的に配列されている。 (2) 問題解決的な学習を3つの段階で繰り返し「生かす・深める」で繰り返ることで、学んだことを生活に生かせるよう題材が構成されている。 (3) 生活に生かす際の実践的・体験的な学習例や活動例が豊富で、調理や製作実習の流れが横流れの見やすいデザインで統一され、学習の流れがつかみやすく、見通しをもち学習を進められるよう配慮されている (4) 食物アレルギーを含む安全や衛生に関する事項について、随所に写真やイラスト、安全マークで強調し注意喚起するように配慮されている。 (5) 写真や図表、イラスト、キャラクターの配置や配色の工夫がなされ、実習での見開きページや食品分類表のページに工夫がなされている。児童自ら技能習得しやすい二次元コードの工夫がされ、意欲を高めるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「持続可能な社会の構築」に関わる内容について2年間を通して衣食住の内容と関連させ繰り返し学習できるように組まれている。家庭科に関係した取り組みをする人物を取り上げ、中学校キャリア教育との関連をもって学習ができるよう配慮されている。 (2) 受け継がれている生活文化や郷土食、行事食等の写真が多数示され、家庭生活や地域の行事と関連付けて活用できるように配慮されている。各題材で「生かす・深める」を設け、学んだことを家庭生活や地域の行事と関連付けて活用できるように配慮されている。 (3) 題材の途中でもキャラクターが生活の見方・考え方のアイコンを持って登場することで4つの視点を意識して取り組み、児童が主体的に相互に関わりながら活動できる題材の取り扱いがなされている。 (4) 「生活に生かそう」で日常生活につながる振り返りを位置付けるなど家庭との連携に配慮された構成となっている。吹き出しの問いかけで話し合いの視点を示し、児童が交流しながら課題に取り組む場面が随所に設定されている。 (5) SDGsと関連させた環境学習を多くの題材で扱える工夫がなされ、キャリア教育、生活の中でのプログラミング、安全防災など、時代の進展に応じた内容が掲載されている。多様性を認め合いながら共生の視点に気づけるように発達特性に合った社会の様々な事象に目を向けることができるよう工夫がされている。 (6) 「学習を振りかえろう」では題材冒頭の学習のめあてに返り、児童が身につける評価の観点に沿って自己評価できるよう工夫され、「生活に生かそう」では家庭での実践的な態度の育成を見とどけられる配慮がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校での学習を中学校の学習につなげられるよう、中学校「家庭分野」の学習内容が写真やイラストでまとめられている。 ・ 細かい単元構成でテーマがわかりやすく設定され、小題材ごとのめあてや振り返りで意欲的に学習できるよう工夫され、季節を体感しながら学習できる配列がなされている。

体育（保健）

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

大 修 館 書 店

文 教 社

光 文 書 院

G a k k e n

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい保健）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活の中から課題を見つけ、自分の考えを表現したり、他者と対話をしたりしながら、知識や技能・思考力・判断力・表現力等が身に付くように配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> イラストや写真の量、記述する量が学年に応じて変えられており、発達段階に応じた内容の配慮がされている。 「気づく・見つける」で個々の日常の振り返りからはじまり、「調べる・解決する」で友との話し合いを経て、課題を解決していく構成となっており、児童の主体的・対話的な学びを支える工夫がされている。 「実習」「スキル」のコーナーが位置付けられており、児童が自分で試したり生活に生かしたりできるよう工夫がされている。 重要な語句を解説で詳しく説明したり、資料に関連する内容を扱ったりするなど、児童が理解しやすいよう配慮がされている。 大きな写真、吹き出しのあるイラストや漫画を用いての問題提示により、児童の学習の意欲を高められるよう工夫がされている。重要語句を太字で示したり、文節改行を行ったりすることで、どの児童にも読みやすい工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> 「どんな自分になりたいかな」「どんな自分になれたかな」のコーナーが設けられ、3～6年の学びの系統化が図られている。 章扉に、学習に関する他教科や他学年の学習内容、SDGsの内容が明記され、関連付けに工夫がされている。 導入を1ページの大きな写真やイラストで行い、ページをめくると学習課題が示される構成になっており、児童の主体的な学びにつながるよう工夫がされている。 「スキル」のコーナーで命や健康を守る実践的な方法が紹介されており、心身の健康や安全についての配慮がされている。 章のはじめに目標に向けてどのように学習が進んでいくのかイラストで示されており、学習の見通しがもてるよう配慮がされている。また各単元末の資料（QRコードを含む）が豊富に準備されている。 自分の気づきや考え、まとめ等を記入する欄が各ステップに配置され、児童の学びの様子が1冊の中で記録、確認できるよう工夫がされている。また、記述欄と穴埋め問題を適切に配置しており、各観点の評価がしやすいように工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> 1時間の学習が4ページ、4ステップで構成され、ステップ1の後にページをめくると学習課題が提示される仕組みになっており、主体的に課題解決に取り組めるよう工夫がされている。 また、ステップ4では簡単な穴埋め問題が設定され、知識の定着を確かめられるように工夫がされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	大日本図書（新版 たのしい保健）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活の中から課題を見つけ、自分の考えを表現したり、他者と対話をしたりしながら、知識や技能・思考力・判断力・表現力等が身に付くように配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 1時間の学習内容を見開きページにまとめ、発達段階に応じた分量となるよう配慮がされている。 (2) 章の導入で、キャラクターを探す活動やフローチャート図などの学習ゲームを用いることで、興味関心をもって主体的に課題解決に向けて学習できるよう工夫がされている。 (3) 不安や悩みへの対処で体ほぐし運動を紹介し、体育（運動領域）との関連を示し実感を伴って理解できるよう配慮がされている。 (4) 「つかもう」「考えよう」「話し合おう」等の見出しやミニ知識の掲載など、分かりやすさの点で工夫がされている。 (5) 章の導入のイラストを細分化し、学習内容に合わせて考えることができ、学習意欲を喚起するよう配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 巻末ページに次学年の展望が示してあると共に、将来に向けて夢や目標を記入する欄があり、学びの系統が図られている。 (2) 関連しているページが分かるように矢印で示されていたり、中学校の単元が示されていたりして、関連付けに工夫がされている。 (3) 課題解決に向けて「つかもう」「考えよう」「話し合おう」「調べよう」「活かそう」の五つの活動が設けられ、多様な方法や形態で追究できるよう工夫がされている。 (4) リラックスするための呼吸法やけがの手当について実習するコーナーを設け、心身の健康や安全への配慮がされている。 (5) 「もっと知りたい」のページには多くの写真やイラスト、図表が示され、場面や状況が理解しやすいよう工夫がされている。 (6) 1時間の授業のまとめで「活かそう」を行い、章のまとめとして、「ふり返ろう」「明日へつなげよう」を位置付けることで、評価の観点が明確になるよう工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 折り込みカードを準備し、自分の生活の振り返りから課題をつかむまでの導入を大事にしようとする配慮がされている。 ・ 各章の終末には、記号と記述によるまとめができるよう工夫がされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	大修館書店（新小学校保健）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活の中から課題を見つけ、自分の考えを表現したり、他者と対話をしたりしながら、知識や技能・思考力・判断力・表現力等が身に付くように配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）	<ul style="list-style-type: none"> (1) 3、4年では20点、5、6年では31点の資料が提示されており、学年に応じてより発展的に学べるように工夫がされている。 (2) 1時間の学習の最後に「ほけんクイズ」が設定されており、児童の学習意欲を喚起し、主体的な学びを支える工夫がされている。 (3) 「体育の窓」のコーナーが設けられ、運動領域と保健の学習との関連が捉えやすいよう配慮がされている。 (4) 「導入」「課題解決活動」「まとめ」の各段階で見出しの色やマークが分けられ、学習の流れを把握できるよう工夫がされている。 (5) 章扉で、各界で活躍する著名人のインタビューを掲載し、興味や関心をもって学習をスタートできるよう工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「5、6年で学習すること」「3、4年で学習したこと」が巻末や目次に示され、学習事項の系統化が図られている。 (2) 生活習慣病の学習が虫歯から始められ、児童にとって身近な問題から導入していけるような配列の工夫がされている。 (3) 課題解決に向けて「考えよう」「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」の四つの活動が設けられ、多様な方法や形態で追究できるよう工夫がされている。 (4) 資料の「はってん」で命や健康を守る実践的な方法が紹介されており、心身の健康や安全についての配慮がされている。 (5) 児童になじみのない語句について、写真やイラストで例が示されており、意味が理解しやすいよう配慮がされている。 (6) 章の最後に「学習を振り返ってみよう」のページが設定され、自分の取組の様子や知識の定着、これからの活用に向けた考えについて振り返られるよう工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に淡い色合いでの編成となっていて、視覚的刺激が少なく見やすい。 ・ 資料提示のコーナーでは、資料が見開きページで準備され、より発展的な学習ができるよう配慮がされている。 ・ 毎時間の最後に「ほけんクイズ」のQRコードがあり、学習意欲を喚起する工夫が見られる。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	文教社（新わたしたちの保健）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活の中から課題を見つけ、自分の考えを表現したり、他者と対話をしたりしながら、知識や技能・思考力・判断力・表現力等が身に付くように配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ul style="list-style-type: none"> (1) 3、4年生では選択式、5、6年生では資料や記述による課題把握をしており、発達段階に応じて配慮がされている。 (2) 単元導入時に、生活場면을イメージした写真を提示したり、自分の生活を振り返り、課題を明らかにして話し合ったりすることを通して、主体的・対話的な学習ができるよう工夫がされている。 (3) 不安や悩みの対処では、運動領域の「体ほぐしの運動」が紹介され、実感を伴って理解できるよう配慮がされている。 (4) 「ここが大事」のコーナーを設け、大切な用語や内容を理解しながら、学習を進められるよう工夫がされている。 (5) 印象に残したい言葉や数字を太字で示し、学習意欲を高められるよう配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学習指導要領に示された内容について段階を踏んで学習ができるよう、系統性を意識した順序で示されている。 (2) ページ下部の「つぶやきくん」に他学年の学習内容が示されており、他学年の学習内容との関連付けに工夫がされている。 (3) 交通事故防止や地域での安全では、実際のデータを示すことで、保健の見方・考え方を働かせながら、主体的に活動に取り組めるよう工夫がされている。 (4) 自転車の安全点検に関わる写真が掲載されており、交通安全への配慮がされている。 (5) 対比できる写真を使用し、よい習慣とよくない習慣を比較して考えられるよう工夫がされている。 (6) 章末に、「これからの自分の課題を考えよう」の欄があり、単元の学習を振り返るとともに、これからの自分について考えられる工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間の終わりに「もう一歩先の自分へ」、章末に「○○宣言」の欄が設けられ、自身の生活へ目を向けられる工夫がされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	光文書院（小学保健）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活の中から課題を見つけ、自分の考えを表現したり、他者と対話をしたりしながら、知識や技能・思考力・判断力・表現力等が身に付くように配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 章のはじめに4コマ漫画が示され、これから学習する内容が発達段階に応じて理解しやすく、児童の興味関心をひく工夫がされている。 (2) 「見つけよう」の活動を設定し、はじめに自分の生活を振り返り、問題意識を高めてから課題を掲示することで、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされている。 (3) 「やってみよう」の活動を設定することで、体育（運動領域）と関連させて実感を伴って理解できるよう配慮がされている。また、体育授業だけでなく日常の生活でも取り組める内容となっている。 (4) 学習のまとめには☆印をつけ、大切な文章であることが分かりやすい。また、新しい言葉・難しい言葉は、すぐ横に解説を置く配慮がされている。 (5) 黒板のイラストの中に「学習の課題」を設けることで、的確に学習課題をつかみ、学習意欲を喚起するよう配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習内容のねらいに即し、4年間を見通して系統的な順序で配列がされている。 (2) ページ下部に他学年の内容が示されており、各内容の配列や関連付けに工夫が見られる。 (3) 課題解決に向け、自分自身の生活と比べたり、自分の考えを他者に伝える学習活動を提示したりし、多様な方法で課題追究ができるよう工夫がされている。QRコードを読みとった表に身長を入力すると、自動計算で伸び等を表示してくれ、そのまま教科書への記入ができるよう工夫がされている。 (4) 外出時の安全や自然災害の備えに関するイラストが記載されており、実践につなげられるよう配慮がされている。 (5) 様々な分野で活躍している人物の写真やインタビューがあり、保健の学習と実生活の関わりが理解しやすいよう工夫がされている。 (6) 各章末に「学習のまとめ」があり、自己評価したり自分の生活に生かしたいことを考えたりする活動ができるよう工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間が見開きページで構成され、学習の流れや進め方が分かりやすい。黒板イラストを利用した「学習の課題」掲載がとても見やすい。 ・ 各章末には、簡単な穴埋め問題が設定されており、知識及び技能を習得できるよう工夫がされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	G a k k e n（新・みんなの保健）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活の中から課題を見つけ、自分の考えを表現したり、他者と対話をしたりしながら、知識や技能・思考力・判断力・表現力等が身に付くように配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘索性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 写真やイラストを大きく配置することで、学年の発達段階に応じて学習への興味・関心が高められるよう配慮がされている。 (2) 章の導入に身近な生活場面の写真を用いて、自己の生活に重ねて問いを設定できるようにし、「ふり返る」「話し合う」等の活動により、主体的・対話的に学習できるよう工夫がされている。 (3) 不安や悩みへの対処で体ほぐし運動を紹介し、体育（運動領域）と関連させ、実感を伴って理解できるよう配慮がされている。 (4) 言葉の詳しい説明や関連する情報をページ下に記載し、分かりやすさに配慮した工夫がされている。 (5) 写真やイラストにより場面や状況を視覚的にイメージしやすく、学習意欲を高められるよう配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 巻末ページに次学年や中学校での学習内容が示され、系統化が図られている。 (2) 「つなぐ」のマークで他教科や他学年の学習内容やキャリア教育と関連付けて学習することができるよう工夫がされている。 (3) 導入や展開の学習活動で「資料を読み取る」「意見を出し合う」「実習」など多様な学習形態が設定され、主体的に相互に関わり合いながら学習を進められるよう工夫がされている。 (4) 外出時や自然災害への備えについて「安全な生活のために」のコーナーを設け、心身の健康や安全への配慮がされている。 (5) 科学的資料「かがくの目」、「ほけんのはこ」コーナーでは発展的な内容を扱い、より学びを広げるための工夫がされている。 (6) 章のまとめとして「ふり返る」「伝える」「つなぐ」を位置付けたり、記入欄を多く設けたりして、評価の観点が明確になるよう工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入欄を多く設け、ワークブック的な活用ができる。 ・ 1冊の教科書で完結できるよう工夫がされている。

外国語（英語）

東京書籍

開隆堂出版

三省堂

教育出版

光村図書出版

啓林館

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍(New Horizon Elementary English Course)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元において学習した表現を使って「聞く」「話す」活動を行い、「読む」「書く」活動につながる構成で、外国語における基礎的な知識・技能を習得できるよう配慮されている。 ・ コミュニケーションを行う目的や場面等に応じて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができるような言語活動が設定されている。 ・ 他教科を意識したり、日本や世界とのつながりに目を向けたり、世界の文化に対する気づきを深めたりできるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各単元が4パート構成で、基礎的な技能を少しずつ身につけられるよう配慮されている。 (2) 「Enjoy Communication」では、巻末カードを使い、ペアやグループでやり取りする活動が設定されており、児童がコミュニケーション場面を想定しやすく、自分の考えや気持ちを伝え合えるよう工夫されている。 (3) 「Our Goal」で見通しをもち、「Your Plan」で伝えたい内容を考え、「Your Goal」ではコミュニケーションで気を付けたいことを考え、児童が主体的に学べるよう配慮されている。 (4) 各単元、文字と音の関係の学習が扱われており、音声から文字への流れを重視し、自然と読み書きへ進めるよう配慮されている。 (5) A4サイズで文字や絵が見やすく、児童の興味を引き、学習意欲が高められるように色鮮やかな絵や写真が使用されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 自分の身近から視野を広げ、主体的に世界とのつながりを学び、社会的な事象についても、考えを広げられる工夫がされた単元構成となっている。 (2) 「Check Your Steps」で各単元を振り返り、まとめの活動ができるように設定されており、自分の考えを整理しながら、自己表現できるよう配慮されている。 (3) 各単元の「Let's Try」では、言語材料を選択して伝え合ったり、身近な話題について尋ね合ったりする場面が設定され、児童同士の主体的なコミュニケーションを生み出せるよう工夫されている。 (4) 目的に応じて、実際のコミュニケーションに近い場面設定が行われている。 (5) 単元の始まりである「Starting Out」では、見開き一面に鮮明なイラストが提示され、児童の興味を引き、話題に入りやすくなるよう工夫されている。 (6) 単元末の活動には、話す活動が取り入れられ、実際に英語を使うことがまとめとなるよう配慮されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年生では「日本」、6年生では「世界」に目を向けさせ、自分の身近から視点から、日本、世界について考えを深められるような構成となっている。 ・ 工夫された多くのコンテンツが用意され、児童が個に応じた学習を行う際に、外部サイトに接続することなく学習を進めることができる。 ・ 毎時間の導入部で指導者が行う Small Talk の映像が用意されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	開隆堂出版（Junior Sunshine）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「聞く、話す」から「読む・書く」活動へと段階を追って学習に取り組み、外国語の基礎的な技能が身に付けられるよう配慮されている。 ・ それぞれの活動について三観点五領域の視点をもった取り組み方の提案あり、「学びに向かう力、人間性等」といった子どもの主体性が育まれるよう配慮されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 活動内容が「見る・聞く」から「話す」、「読む・書く」と展開され、言語習得の段階に合わせて学習に取り組めるよう配慮されている。 (2) 既習内容を入れた簡単な語彙を扱った活動から語彙を増やしながらか慣れ親しんでいく活動へと単元構成がなされている。 (3) テーマが自分のことから身の回りのことへと、より社会が広がるように構成されている。また、各活動についてその目的が明記されるなど、主体的な学びにつながるよう配慮されている。 (4) 各単元のほとんどで既習表現を含めた聞くことから始まり、最後に仲間と自分のことについて伝え合う活動へと、コミュニケーション活動を段階的に取り組めるよう配慮されている。 (5) イラストと文字とのコントラストがはっきりしており、視覚情報として入りやすく配置されている。また、写真等に説明が書かれているなど活動の見通しをもつことへの配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) テーマが自分のことから身の回りのこと、国内、国外へと、より視野が広がるように単元配列が配慮されている。 (2) 身近で平易な語彙や表現を中心に言語材料が配列され、くり返し扱う活動が展開されることで基礎的な力が定着するよう配慮されている。 (3) 平易な語句からスモールステップで何度もやり取りできる活動の工夫があり、子どもたちが関わり合いながら表現を習得していかれるよう配慮されている。 (4) 子どもたちが自分のこととして言語を使えるよう、場面設定や場に合った言語の働きが提案されている。 (5) 毎時間（2時間ごと）のめあてが各見開きページの上に表記されており、扱う言語とのつながりが意識しやすい。 (6) 活動の指示項目のそばに評価する領域とその観点を示している。巻末にCAN-DOチェックのページがあり、単元末に子どもたちが自己評価できるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページ下段に Small Talk 欄があり、2時間に1回は既習表現を使ってやり取りできるよう、配慮がされている。 ・ 他教科との関連やテーマによる社会的な問題が例示されている。 ・ 多くのコンテンツが用意され、個に応じた学習を行うことができる。 ・ やわらかいタッチのイラストを用いたコンテンツが用意されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	三省堂 (CROWN Jr.)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元において、音声から文字へと段階的に活動が配列され、バランスよく知識・技能を習得することができるよう工夫されている。 ・ 身近なことを題材にして、目的・状況・場面が明確に設定されており、学習したことを生かして自分の考えを表せるように工夫されている。 ・ 友だちと伝え合ったり、聞き合ったりする活動が多く、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養えるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「聞く」「話す」「読む」「書く」の順に活動がバランスよく配置され、最後の「Jump」で単元の目標が達成できるよう分量に配慮されている。 (2) 1時間の中に「聞く」「話す」活動が段階的に配置されており、自信をもって自分の考えを伝えたり、書いたりできるよう工夫されている。 (3) コミュニケーションを行う上での目的や状況が明確であり、主体的に相手と関わろうとする意欲をもてるように配慮されている。 (4) 挿絵や写真が多く、場面の様子がわかりやすい。また、QRコードを読み込むことで、活動の様子がわかり、スムーズに学習に取り組める。 (5) 写真や絵が多く使われ、場面の様子をつかみやすく工夫されている。「書く」学習では、4線の中に教科カードを置くスペースが確保されており、色々な語彙を文章に当てはめて読めるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) はじめに単元の Goal が示され、それに向けて「Hop」「Step」「Jump」の中で十分に音声や文字に親しむ学習が配置され、ねらいが達成されるような分量に配慮されている。 (2) 4技能が段階的に配列されており、新出表現や単語を十分に練習したのちに話す活動や書く活動につながるよう工夫されている。 (3) 各単元では対話に必要な様々な単語が例示され、場面に合わせて主体的に自分の考えや気持ちを表現できるよう工夫されている。 (4) 日常生活の中や自分の体験をもとにした言語活動が多く、コミュニケーションを通して言語の働きについて理解できるよう配慮されている。 (5) 二次元コードを読み込むことで動画や音声を繰り返し確認したり、Panorama や My Dictionary ではイラストと音声を合わせて学んだりすることができるよう配慮されている。 (6) 巻末に STEP ごとのめあてが一覧で記載されており、年間を通して外国語学習でついた力を評価できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページ下部に英語に関する様々な情報が記載されており、発展的な学習意欲につながるよう工夫されている。 ・ 多くのコンテンツが用意され、個別最適な学びが行える。Let's Play や Let's Talk では活動の詳細シートを見ることができ、各 Panorama のページにはふりかえりシートが用意されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版（ONE WORLD Smiles）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元、聞くことから始まり、その後話すことへと展開されており、段階を経て、学習や言語活動を進められるよう配置されている。 ・ コミュニケーション活動を通して、児童が主体的に考え発表できるよう配置されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文字での説明を最小限にするような配慮がある。4技能のバランスが良く、中学年での学びを活かしてステップアップできる内容が配置されている。 (2) 英語に触れ、慣れ親しむ時間を多く設け、単元末には言語活動を配置するようバランスよく展開されている。 (3) 児童が場面を想像しやすいよう題材の配慮がなされている。巻末にワークシートが用意されており、言語活動で主体的な学習がしやすいよう適切に配置されている。 (4) 単元が聞くことから始まり、学習内容を確認する働きかけがされている。その後、話すことや発表へと展開されており、段階的に学習が進められるよう配置されている。 (5) 図や絵が多い教科書構成となっており、文字に抵抗がある児童にとっても読みやすい配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 5年生では自分のことから始まり、単元が進むにつれ、学校、地域、世界と活動範囲を広くできるよう題材の内容が検討されている。 (2) 児童が使いやすい単語が使われており、言語活動で学習した内容が活かしくなっている。Word bankで単語を確かめられ、巻末カードには品詞で色分けがあり、指導しやすい配慮が見られる。 (3) 学校生活など身近な言語材料が位置付けられており、想像しやすい内容で対話活動が行えるよう精選されている。 (4) Final Activityでは、場面設定を明確にし、巻末のワークシートを活かして学習した表現を使えるよう配置されている。 (5) ワークシートがカラーで用意されているものが多く、児童の意欲を高める工夫が見られる。全体の構成として写真や絵が多く、児童が見やすいよう配慮されている。 (6) 指導・評価編には年間指導計画案や評価規準が明記されている。また、各単元末に振り返りが配置されており、単元のまとめを評価できるよう配置されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末資料・ワークシートが充実している。 ・ デジタル教科書に「録音・再生」機能があり、発音を確認しやすい。 ・ 様々なコンテンツが用意され、個に応じた学習を行うことができる。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	光村図書出版（Here We Go!）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語習得の理論に沿い、見たり聞いたりするインプットの活動から、チャンツを用いて口を動かし、話したり書いたりするアウトプットの活動の流れで学習できる構成になっている。 ・ コミュニケーションの目的や場面、状況を明確にし、誰に何のために伝えるのかという視点で自分の考えや気持ちを表現する活動が各単元の中心活動として大変適切に設定されている。 ・ 各単元の目標が児童の学習意欲が高まるような設定になっていて、見通しをもち意欲的に学習に取り組むことができる構成になっている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 5年生、6年生ともに同じUnit数、また1つのUnitの時数も7時間で統一されていて、学習活動に一貫性があり、分量も大変適切である。 (2) 各単元の導入で英語を使う目的や場面、状況を確認できるようになっているため、展開時には練習活動を通して学習すべき表現を見つけることができ、ゴールでは世界の映像に触れながら児童の見方や考え方を広げられるように配慮された構成になっている。 (3) 各単元の最初のページに単元で学習する内容が端的に書かれており、また児童の学習意欲が高まるような単元目標が設定されているため、見通しをもち意欲的に学習に取り組むことができるようになっている。 (4) 各単元のSmall Talkの対話文やスピーチ文に既習表現が多く用いられていて、各単元でのまとめの活動をより内容の濃いものに行うことができるよう、また児童が考えるヒントになるよう工夫されている。 (5) 英語も日本語もユニバーサルデザインに配慮された文字が使用されていて、写真や絵の色が明瞭で見やすい。また各ページのQRコードが右上に配置されていて非常に使いやすい。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 5年生では身近な人、地域のことについて、6年生では5年生までの学習内容をふまえて日本や世界のことについて、そして中学へ向けて将来のことについて学ぶという見通しを明確にもつことができる大変適切な構成になっている。 (2) 中学年で学習した表現を5年生でも繰り返し場面を変えて触れられるようになっている。また、中学年で学習した語彙や、中学校の教科書や国際的な語彙の基準を基に分析された語彙が選定されている。 (3) 各単元に相手のことを考えながら質問したり、自分で相手の答えを考えたりする場面や、その学習を経て別の相手に詳しく尋ねたり、既習表現を加えて伝え合ったりできる活動が設定されている。 (4) 各単元にSmall Talkが組み込まれ、使用場面が明確な状態で既習表現を用いたコミュニケーションが考えられるよう配慮されている。 (5) 各単元のStoryの内容が視覚情報からも想像できるように多くの絵や写真が使われていて、その一場面から本単元で学習する練習問題が設定されているため、単元のねらいと教科書の内容の関連が密接になっている。文字を書くための4線の幅も2線と3線の間が広がっていて、書きやすい配慮がされている。 (6) 巻頭に学年の目標や5領域の到達目標が明記されており、単元の最後には必ずふりかえりの欄があり、次時に活かしたいことなどを記述できるため、児童も教師も明確な観点で評価し、次時の目標を持つことができる構成となっている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常に多くのコンテンツが用意され、個に応じた学びが行える。赤のコンテンツボタンからすぐに音声や映像へアクセスできる。音声スピードや背景色を変えたり、右利き・左利き用の設定が出来たり一人ひとりに合わせたカスタマイズができる。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	啓林館 (Blue Sky elementary)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元音声を中心に英語に慣れ親しんだ後に「読む」「書く」活動へと展開されており、段階的に4技能を身に付けられるよう配慮されている。 ・ コミュニケーションに大切なことを考える活動を通して、目的や場面に応じて児童が主体的に考え、表現できるよう配慮されている。 ・ 各単元で異文化情報が豊富に扱われ、児童の興味・関心を高め、学習意欲が高まるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各 Unit に3つの Step を設け、「聞く」「話す」を繰り返しながらスモールステップで少しずつ表現を積み上げていくよう配慮されている。 (2) 各 Step の前半で語句や表現に慣れ親しみ、後半では、それをもとに自分のことについて話す活動が設定されている。各単元の終末には各 Step で学習してきたことをまとめて発表できるような展開となっている。 (3) コミュニケーションで大切なことを映像や児童同士のやり取りから自ら気付けるような工夫がされている。 (4) 聞く活動や Jingle・chants で十分に音声や言語材料に慣れ親しんだ後、やり取りや発表、Let's Read and Write という展開になっており、4技能5領域を相互に関連付けながら学習を進めることができる。 (5) 挿絵や写真が見やすくレイアウトされており、内容理解の補助や自己表現の際のアイディアにも活かせるよう工夫されている。フォントや配色がユニバーサルデザインに配慮されたものが使用されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各 Unit 扉の Watch the Scene で Unit Goal に向けた導入（場面設定）がなされており、見通しを持って学習を進められる構成となっている。また、学習が基礎から発展的な内容となるよう配慮されている。 (2) 5年生では個々の表現を学習し、6年生では既習事項を活用しながら、新表現を獲得していく作りになっている。また、6年生では、ストーリーが1年を通して関連付いた流れになっており工夫されている。 (3) 慣れ親しんだ語彙や表現を使うためのペアやグループ活動が多く取り入れられ、主体的に学べる工夫がされている。また、word list から自分の伝えたいことを選び、個人に合った活動ができるよう配慮されている。 (4) 各単元最後の活動や Review では、目的や場面が明確にされており、思考しながら英語が学べる工夫がされている。 (5) 挿絵や写真、図表が活動の際に児童の「考える」手掛かりとなるよう工夫されている。 (6) 単元末の Look Back では目標に対する振り返りが、また巻末の Can-Do List では領域ごとの評価の観点にそった振り返りができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に相手意識を持って活動に取り組めるような工夫が見られる。 ・ 豊富なコンテンツが用意されている。Activity の活動では英文メーカーがあり、語彙リストから児童が話したい英語を選択して文を作り音声を聞くことができる。

道 德

東 京 書 籍

教 育 出 版

光 村 図 書 出 版

日 本 文 教 出 版

光 文 書 院

G a k k e n

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	東京書籍（新編 新しい道徳）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材末には、自己を見つめる発問が必ずあり、自己の生き方について考えを深める学習ができるよう工夫されている。 ・ 「つながる 広がる」では、友だちと交流する活動があり、他者の意見を取り入れながら、物事を多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 教材末での問いが焦点化されており、教材から何を考えればよいのかがよくわかるよう工夫されている。 (2) 教材末の自己を見つめる発問は、その教材で扱いたい道徳的価値に迫ることができるよう適切に配置されている。 (3) 児童の身近な出来事を扱った教材が多く、主人公と自分を重ね合わせながら考えることができるよう大変工夫されている。 (4) 「えんじて考えよう」では、役割演技の仕方を紹介し、教材の登場人物になりきったり、演技をみたりしながら、多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。 (5) UDデジタル教科書フォントが使われていたり、吹き出しや漫画のようなレイアウトが使われていたりして、児童が見やすく、内容を理解しやすいように配慮されている。 (6) 低学年では、登場人物の感情がよくわかるような挿絵が使われ、高学年では、内容をリアルに表す写真が多く使われている。発達段階に応じて、問題がとらえやすくなるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の発達段階に即した適切な教材が配置され、それぞれの内容項目を偏りなく学ぶことができるよう配慮されている。 (2) 教材の内容が一年間の学校行事や活動とつながりをもたせるよう考慮され、年間指導計画が効果的に作成できるよう十分に配慮されている。 (3) 現代的な課題が5つのユニットとして取り上げられ、各学年の発達段階に即して示されており、児童の日常生活や他教科と関連づけながら考えることができるよう、大変工夫されている。 (4) 挿絵や写真から場面の状況や登場人物の気持ちを思考することができるよう工夫されている。 (5) 巻末には、「学習の記録」を書く欄があり、自分の生活に活かしたいことを記録できるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの教材でも道徳的価値に迫るための発問が2つに絞られており、児童の実態に合わせて柔軟に活用できる構成になっている。 ・ 考えるためのツールが示され、自分の考えを図で表し、友だちと比べたり、多面的・多角的に考えたりできるよう工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	教育出版(小学道徳 はばたこう明日へ)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ内容項目の教材が、時期を変えて配置され、より深く、新たな観点で、自己を見つめられるような工夫がされている。 ・ 「やってみよう」では、登場人物の心情や行為に共感し、道徳的価値を理解できるような工夫がされている。 ・ 「深めよう」では、児童が自分事として考えることで、自己の生き方について考えを深められるような配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年では物語教材、中学年では生活教材、高学年では人物教材を重点的に扱うなど、発達段階に応じた配慮がなされている。 (2) キャラクターによる吹き出しやイラスト、二次元コードが導入部分にあり、道徳的価値や教材内容へのスムーズな導入が工夫されている。 (3) 「問題を解決しよう」では、自ら問題を見つけ、主体的に考えられるような発問で、思考を促す「学習のてびき」が適切に配置されている。 (4) モラルスキルトレーニングや役割演技などの体験的な学習を複数回取り入れ、多面的・多角的に考えられるように配慮されている。 (5) 行間を広くし、教材本文とルビで異なったフォントの使用、当該学年の漢字や固有名詞などが登場する度に振り仮名が付けられているなど、発達段階に応じた工夫がされている。 (6) 各学年で設定されている重点テーマの目次やページには、黄色の枠が付けられ、児童が重点テーマを意識する工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 物語教材、生活教材、人物教材のバランスが学年に応じて展開されたり、他教科や特別活動との連携を示したり、児童の発達段階や教育活動全体を意識した多様な教材が大変工夫されている。 (2) 本教材30本と補充教材5本で構成され、補充教材に替えて、地域教材や自作教材を扱うなど、地域や児童の実態に応じた指導計画を作成できるように十分に配慮されている。 (3) いじめや情報モラルなど重点テーマが発達段階に応じて設定されており、多面的・多角的に考えることを促す工夫がされている。 (4) UDフォントを使用し、マンガ形式で並べられた絵、見開き全面のイラストなど見やすく、自由な発想ができるようにして、内容理解につながるように配慮されている。 (5) 各教材末の「自己評価欄」、巻末の「学習の振り返り」など自己を振り返る機会が複数あり、児童の学習状況や道徳性に関わる成長の様子を把握できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年、各教材末に「学習のてびき」が設定され、児童が考え、議論しながら自分の生き方についての考えを深める発問が工夫されている。 ・ 「いじめ問題」「情報モラル」を全学年で大切にする共通のテーマとしてユニット化し、多面的・多角的に考えることを促す工夫がされている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	光村図書出版（道徳 きみがいちばんひかるとき）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時間の導入で自己の経験を想起させ、最後の「つなげよう」で自分の生き方に関わりながら考えを深められるようにさせるなど、自己を見つめ自己の生き方についての考えを深めるために、十分な配慮がされている。 ・ 巻頭に「みんなで気持ちよく話し合うためのコツ」を示し「考えよう・話し合おう」に沿って道徳的価値に関わる話し合いに取り組み、「学びの道具箱」で思考ツールを紹介するなど、対話から生まれる「気づき」を楽しみ物事を多面的・多角的に捉えられるように大変工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 該当学年で起こりそうな問題や悩みを教材として取り上げることで、児童が登場人物に寄り添って考え、道徳的価値を深められるように十分配慮されている。 (2) 歴史上の著名人や現在話題になっている人物の話、絵本や昔話から選んだ教材など多様性に富み、児童の関心・意欲を喚起し主体的に道徳的価値を追求できるような教材が適切に配置され、大変工夫されている。 (3) 最初の教材の下に「道徳の学び方」が示されていて道徳的価値の理解を自分との関わりで深め、主体的に学べるよう十分配慮されている。 (4) 「演じて考えよう」「図を使って考えよう」など、学年に応じた考えるヒントが示されており、体験的な学習をすることを通して、多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。 (5) 文字は教科書体活字で、行間、余白なども配慮があり読みやすい。更に、B5変形判を用いて小学生が扱いやすいように工夫されている。 (6) 挿絵の表情が自然で、児童が登場人物の気持ちを偏った先入観を持たずに自分なりに考えられるよう配慮されている。挿絵や写真が国際色豊かで多様性を大切に作られている。写真とページの配色のコントラストにも配慮し、児童が感動して読み込めるよう大変工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) それぞれの内容項目の教材が、偏りなく、かつ、児童の学校生活にも時期が適合するように十分配慮し配列されていて、児童が自分事として考えやすいように大変工夫されている。 (2) 教材末の手引きの「つなげよう」では、自分たちの身近な問題に立ち返ったり、他教科と関連させて学びを深めたりと、計画的・発展的な指導ができるように工夫されている。 (3) 現代的な課題として重要とされる「いじめ問題」や「情報モラル」等については、教材とコラムを組み合わせたユニットを構成し、課題を自分事として受け止め、自己の生き方についての考えが多面的・多角的に深められるように十分に配慮されている。 (4) 必要に応じて、挿絵の登場人物に名前を入れることで、児童が登場人物の気持ち等を考える助けとなるように配慮されている。 (5) 巻末の「学びの記録」で発達段階に応じた記録ができたり付属のワークシートに記録したものを蓄積したりして、児童・教師双方が学習を振り返り、道徳的価値の深まりを実感できるように工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の文章表現が一方的な見方にならないように配慮されていたり、児童の心にストレートに飛び込む読み物教材や漫画や写真を主とした教材など多様な教材が配置されていたり、児童が関心・意欲をもち様々な道徳的価値に触れ、考えを深められるよう、大変工夫されている。 ・ 児童が何をどのように学ぶのかわかり、自然に友だちと考え合いながら自分事として学びが深められるような工夫が随所に見られる。

調査研究結果報告書（選定理由書）

発行者名 採択基準	日本文教出版（小学道徳 生きる力）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人との関わりを大切にした豊富な教材や発達段階に応じた道徳ノート構成等、自己を見つめられるよう大変工夫されている。 ・ 話し合いや役割演技など、体験的に学ぶ多様な学習方法が示されており、多面的・多角的に考えられるよう大変工夫されている。 ・ 「見つめよう・生かそう」で自分との関わりで考える発問が示され、よりよい生き方について考えを深められるよう大変工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等）	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に応じて絵や文字の量のバランスが工夫されており、児童が取り組みやすいよう配慮されている。 (2) 冒頭に教材文の概要や教材で扱う内容項目に関する発問があり、児童が見通しをもって主体的に学習を進められるよう配慮されている。 (3) 教材のねらいにせまる発問と自分自身を振り返る発問の2点を端的に示し、自己を見つめて学習できるよう大変工夫されている。 (4) 話し合いや役割演技等、体験的に学ぶ学習やコラム、ワークシートを盛り込み、多面的・多角的に考えられるよう大変工夫されている。 (5) 「心のベンチ」「ぐっと深める」のページでは、見開きで項目・内容毎にレイアウトされ、学習内容が一目で理解できるよう工夫されている。 (6) 教材に関する写真が複数掲載されていたり、表情が鮮明に表現されていたりして、教材内容の把握がしやすいよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価）	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に応じて児童が自分事として捉えやすいよう、現代的・社会的な課題への対応を考える教材や学校生活と結び付けて考える教材が多く配置されている。 (2) 補助教材が「ふろく」として収められており、学校の実態に応じて教材を選択したり自主学習に役立てたりできるよう十分に配慮されている。 (3) 現代的な課題であるいじめを間接的に扱った教材を年間3回設定し、その前後で生命の尊さに関する教材を配列し、いじめを許さない心を育てる工夫がされている。 (4) 道徳的価値の理解のために鮮明な写真を複数掲載し、児童の興味・関心を引き出して指導を展開できるよう工夫されている。 (5) 別冊「道徳ノート」に学習の記録をし、児童が自己を見つめ、学習の積み重ねを実感できるようにするとともに、教師が児童の学習の様子を把握できるよう大変工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決的な学習や体験的な学習に適した教材を配置したり、教材の始めと終わりに自己を見つめる発問を示したり、見開きのページを掲載したりして、児童が考えやすくなるよう十分に配慮されている。 ・ 児童の発達段階に配慮した記入方法の道徳ノートが付属しており、継続して道徳的価値について考えを深めたり、自分の成長を実感したりできるよう大変工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	光文書院（小学校道徳 ゆたかな心）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領における目標と内容項目がもれなく指導できる。教材が1年は34本、2～6年は35本が掲載されているほか、付録教材が1年は6本、2～6年は5本掲載されており、児童の実態や指導計画に応じた入れ替えができる構成になっている。 ・ 全ての学年の冒頭に、なぜ道徳を学ぶのか「問い」が提示されたり、「考える」意味が説明されたりし、多様な思考ができるように工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童に身近な教材が多く配列され、なじみのある言葉でわかりやすい構成になっている。学年毎の教材の文章量が十分配慮されている。 (2) 絵や写真を効果的に取り入れる他にも、授業の導入や展開に使えるデジタルコンテンツが付加されている。児童が意欲的に追求したくなるように大変工夫されている。 (3) 「道徳の時間はこんな時間です」を設けたり、各教材に「考えよう」「まとめよう」「ひろげよう」の問いがあったりし、主体的・対話的に学習できるようによく工夫されている。 (4) 児童が自分事として考えやすい話題が配列されていることで、自分や友だちの体験を通して多面的・多角的な思考ができやすく構成されている。 (5) 各学年の漢字の学習進度に合わせてルビがあったり、必要に応じて注釈があったりするなどの配慮がされている。 (6) 教材の冒頭には、視覚的に引きつける資料が配置され、人物の表情や具体物が分かり、資料を読む前に問題をとらえやすくする工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年の重点教材にはマークがつけられ、目次や中表紙には「問い」が示されている。複数の教材が配列されていることで児童の意識を高める配慮がされている。 (2) 教材は各学年に40本の配置があり、児童の実態、地域性、指導計画に合わせた教材が選択できるように十分配慮されている。 (3) 生命への尊厳、自然・人との共生、情報モラル、キャリア教育など、先の見えない未来をよりよく生きるための現代的な課題がバランスよく掲載されている。 (4) 特別支援教育の視点を含み、文字、色はユニバーサルデザインが取り入れられ、すべての児童が使いやすい工夫がされている。 (5) 各学年の巻末に、発達段階に合った「学びの足あと」が設けられている。児童が振り返りを積み重ねていくことで、自分自身の成長を感じられるように大変工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材数が多く、コラム的な要素もあり、児童の実態に合った多様な指導に対応できるように工夫されている。 ・ 全学年のどの教材にも冒頭の問いがあり、考えを促す発問、まとめの発問が明示されている。授業のねらいが明確でありながら、児童が多面的・多角的に考えられる工夫がされている。 ・ なぜ道徳を学ぶのか「問い」が提示されて「考える」意味が説明されていることで、学ぶ意味や心構えが示され、多様な思考ができるように工夫されている。

調査研究結果報告書（選定理由書）

採択基準 発行者名	G a k k e n（新版 みんなの道徳）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の実態に応じた様々な授業展開ができるよう、また、児童の様々な思考を喚起できるような教材に主題を明示せず、多面的・多角的に考えられる配慮がされている。 ・ 児童が自己を見つめて考えを深めることができるように厳選された発問を配置して、道徳的な判断力や心情、実践意欲及び態度を育てる配慮がされている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童がスムーズに道徳の授業へ向かえるようオリエンテーションがあったり、授業時間に合った適切な数・内容の発問が用意されたりしており、自己を見つめて考えを深める工夫がされている。 (2) タイトル部分に、読みたくなるキーフレーズを入れ、児童を教材へスムーズに導いたり、デジタル教材へつなぐQRコードを配置したりして児童の関心をかきたてる工夫がなされている。 (3) 児童の多様な思考を喚起できるよう、また主体的・対話的に学習できるように、児童に親しみのあるキャラクター、人物、または、情報モラル、多様性に配慮した人権課題など現代的な課題が配置されている。 (4) 自分を取り巻く現代的な課題が色分けされたマークで示され、今の自分について関連付けて主体的・対話的に学べるよう工夫がされている。 (5) 見開きで始まり、内容を視覚的に捉えやすくゆったりとしたレイアウトがなされ、UDフォントやカラーUDが使用してあり、内容の流れをつかみやすくなる配慮がされている。 (6) 児童と同学年の人物を教材に登場させたり、次の教材につなぐ声かけで登場させたりすることで、情景の把握の助けとなるようになっている。また、色分けした4つの視点マークがあり、児童が見通しを持てるよう適切に配置されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に応じて、自己に向き合い、自分をとりまく現代的な課題が意識できる構成となっており、児童が自分事として学べるよう厳選された発問が配置されている。 (2) 目次だけではなく内容ごと教材をまとめたページが巻末に配置されたり、地域教材や現代的な課題、いじめ防止に関連する教材などが効果的に配置されたりして、主体的に取り組めるよう児童の実態に応じた指導計画作成への配慮がなされている。 (3) 生命の尊さを最重点とし、全ての学年で3教材用意されている。また、内容項目の異なる教材を連続して学ぶユニットを設け、多面的・多角的に考えを深められるよう、よく工夫がされている。 (4) 見開きで写真やイラストを提示することで、児童が内容を正確に把握することを助け、自らの気づきから主体的に学ぶ工夫がされている。 (5) 児童の意見や感想を記入できる欄が適宜配置されていたり、巻頭巻末の「自分の記録」や「学びの記録」への記入で自分の考えや成長の跡を確かめたりすることができ、友だち・保護者と共有できるよう工夫がされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の様々な思考が喚起できるよう、教材に主題を明示しないで、児童の多様な発言を集め、それぞれが主体的に考えられるように配慮されている。 ・ 多面的・多角的に考えられる特設ページが設けられ、主体的・対話的な学びや考えが深められる授業の提案がなされており、授業者が自由に学習を展開できるよう工夫がされている。